SONY

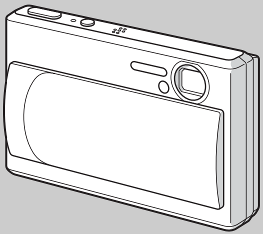
3-085-734-**04** (1)

取扱説明書

サイバーショット応用編／困ったときは

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「サイバーショット基本編」、「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

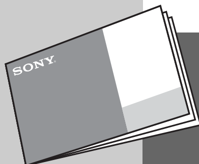


Cyber-shot
Digital Still Camera

MEMORY STICK ™

InfoLITHIUM ™ T TYPE

DSC-T1



別冊の
「サイバーショット基本編」
もご覧ください。

目次

操作の前に

静止画を撮る（応用）

静止画を見る（応用）

静止画を編集する

動画を撮る

パソコンで楽しむ

困ったときは

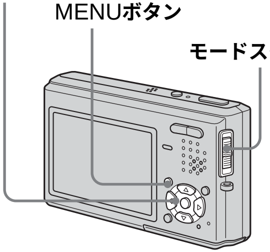
その他

用語の解説／索引

別冊の「サイバーショット基本編」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊基本編 ➡ ページ番号**」のようにご案内しています。

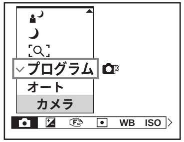
メニューの設定を変える

ここでは、本書でよく使われるメニューやセットアップ画面の使いかたをまとめて説明します。

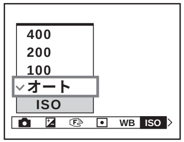


1 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。



2 コントロールボタンの◀/▶を押し、設定したい項目を選ぶ



3 コントロールボタンの▲/▼を押し、設定を選ぶ

選ばれた設定が拡大されて、そのまま決定されます。

設定項目の欄に▲マークや▼マークが表示されているときは

他にも選択項目があることを示しています。その他の項目を表示するには、コントロールボタンの▲/▼を押して画面をスクロールさせてください。

メニュー表示をやめるには

MENUボタンをもう1度押してください。

- グレー表示されている項目は選択できません。
- メニュー項目について詳しくは、65ページをご覧ください。

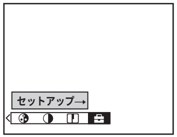
セットアップ画面で設定を変える

1 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

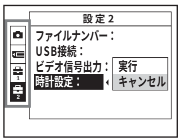
2 コントロールボタンの▶での位置に進み、もう1度▶を押す

セットアップ画面が表示されます。



3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目を選ぶ

選ばれた設定の枠が黄色に変わります。



4 コントロールボタンの中央の●を押し、設定（実行）する

セットアップ画面表示をやめるには

MENUボタンをもう1度押してください。

セットアップ画面からメニューに戻るには

コントロールボタンの◀で手順3のイラストの枠で囲まれた位置に戻り、もう1度◀を押してください。

- セットアップ項目について詳しくは、69ページをご覧ください。

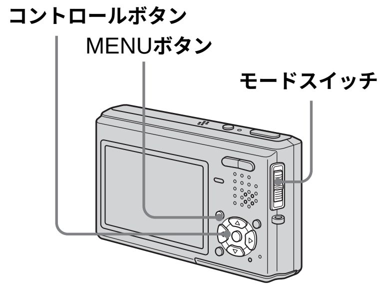
静止画の画質を決める

モードスイッチ：

静止画の画質を選ぶことができます。画質（圧縮率）は［ファイン］（高画質）と［スタンダード］（標準）の2種類から選ぶことができます。

操作の前に

メニューの［］（カメラ）を［オート］以外に設定しておきます（4、65ページ）。



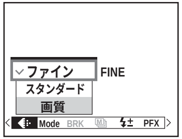
フォルダを作成／選択する

1 モードスイッチを「📷」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［画質アイコン］（画質）、▲/▼で希望の画質を選ぶ



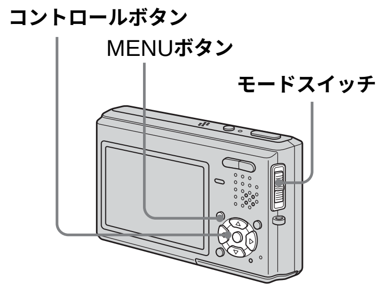
モードスイッチ：📷/🎞/▶

本機は“メモリースティック　デュオ”の中に複数のフォルダを作成することができます。また、入れたいフォルダを選択して記録できます。

新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成することができます。

操作の前に

メニューをセットアップ画面に設定しておきます（5、69ページ）。



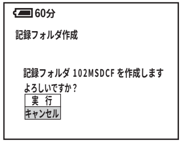
- 1つのフォルダに記録できるのは最大4000枚です。フォルダ容量を越えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

新しいフォルダを作る

1 ▲/▼で［ ］（メモリースティックツール）を選ぶ

2 ▶/▲/▼で［記録フォルダ作成］、▶/▲で［実行］を選び、中央の●を押す

記録フォルダ作成の画面が表示されます。



3 ▲で［実行］を選び、中央の●を押す

既存最大番号＋1のフォルダが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録されます。

フォルダ作成を中止するには

手順2または3で［キャンセル］を選んでください。

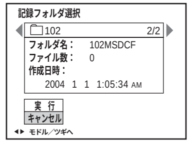
- 1度作成したフォルダを本機では削除することはできません。
- 撮影する画像は、違うフォルダを選択するか、さらに新しくフォルダを作成するまで、そのフォルダに記録されます。

記録フォルダを選択する

1 ▲/▼で［ ］（メモリースティックツール）を選ぶ

2 ▶/▼で［記録フォルダ変更］、▶/▲で［実行］を選び、中央の●を押す

記録フォルダ選択画面が表示されます。



3 ◀/▶で希望のフォルダを選び、▲で［実行］を選び、中央の●を押す

記録フォルダの変更を中止するには

手順2または3で［キャンセル］を選んでください。

- 「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選ぶことはできません。
- 画像は選択した記録フォルダに記録されます。本機では記録した画像を別のフォルダに移動することはできません。

オートフォーカスの方法を選ぶ

モードスイッチ：📷/🎞

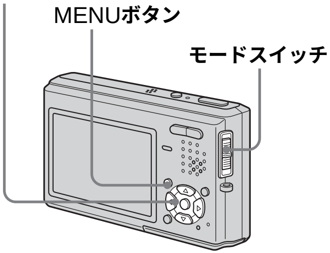
AF測距枠とAFモードを設定できます。

AF測距枠
被写体の位置やその大きさによってピント合わせの位置を選択します。

AFモード
AFレスポンスとバッテリーの消耗の度合いに合わせたピント合わせを開始／終了するタイミングを設定します。

操作の前に

静止画を撮影するときは、メニューの［📷］（カメラ）を［オート］、［🎆］（打ち上げ花火モード）以外に設定しておきます（4、65ページ）。



ピント合わせの測距枠を選ぶ
– AF測距

マルチポイントAF（[▣]）
中央を中心に上下左右の5か所で距離を測定するので、構図に依存しないオートフォーカス撮影ができます。被写体がフレームの中心になくピントが合わせづらい場合に有効です。AFロック後、ピント合わせを行った位置を緑の枠で確認することができます。お買い上げ時はマルチポイントAFに設定されています。

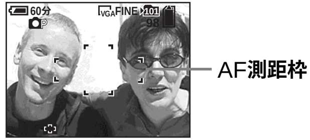
中央重点AF（[ ]）
中央付近の被写体をねらってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。

スポットAF（[■]）
非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。測距枠から外れないように手ぶれにご注意ください。

1 モードスイッチを「📷」または「🎞」のいずれかにする

2 MENUボタンを押す
メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［F］（フォーカス）、▲/▼で希望のAF測距枠を選ぶ



自動ピント合わせをします。
シャッターボタンを半押ししてピントが合うとAF測距枠の色が白から緑色に変わります。

- 動画撮影時、マルチポイントAFを選ぶと画面中央部分を平均的に測距し、手ぶれに強いAFが可能です。AF測距枠は[ ]になります。中央重点AFとスポットAFの場合は、選択された枠部分のみで測距するため、ねらった部分のピント合わせに便利です。
- デジタルズームやAFイルミネーターを使用するときは、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。この場合、[ ]、[ ]、●が点滅し、AF測距枠は表示されません。

ピント合わせの動作を選ぶ
– AFモード

シングルAF（S AF）

動きのない被写体を撮影するときに便利です。シャッターボタンを半押しする前はピント合わせを行いません。シャッターを半押しし、ロック完了すると、フォーカスが固定されます。
お買い上げ時はシングルAFに設定されています。

モニタリングAF（M AF）

ピント合わせの時間を短くすることができます。シャッターボタンを半押しする前からピント合わせを自動的に行うので、ピントが合っている状態で構図を決めることができます。シャッターを半押しし、ロック完了すると、フォーカスが固定されます。

- シングルAFに比べてバッテリーの消耗が早くなることがあります。

コンティニュアスAF（C AF）

シャッターボタンを半押しする前からピント合わせを行い、ロック完了後もピント合わせを行います。被写体が動いた場合でもそのまま撮影が可能です。

- 下記の場合は、ロック完了後、ピント合わせを行いません。「C AF」が点滅し、モニタリングAFと同じ動作になります。
  －暗い状況下での撮影
  －スローシャッターでの撮影
- AF測距枠は中央重点AFになります。
- 動きの速い被写体を撮影する場合、追従できない場合があります。
- ピントが合ったときのロック音は鳴りません。
- セルフタイマー撮影のときはシャッターボタンを深く押し込むとピントが固定されます。
- 他のAFモードに比べてバッテリーの消耗が早くなることがあります。

操作の前に

メニューをセットアップ画面に設定しておきます（5、69ページ）。

1 ▲で［📷］（カメラ）を選ぶ

2 ▶/▲で［AFモード］、▶/▲/▼で希望のモードを選ぶ

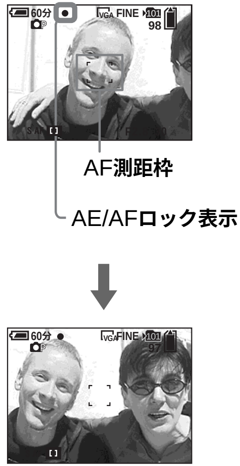


［シングル］または［モニタリング］を選んだときは、AF測距枠が選べます（8ページ）。

撮影のテクニック

被写体をフレームの端にする構図などで撮影する場合や、中央重点AFまたはスポットAFを使用した場合、端の被写体にピントが合わず、中央にピントが合う場合があります。このようなときは、AFロックを使用し、ピントをねらった被写体に合わせて撮影します（コンティニュアスAF時を除く）。

被写体がAF測距枠内に入るように構図を変え、シャッターボタンを半押しする。
AE/AFロック表示が点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻して、シャッターボタンをさらに押し込む。



- AFロックを使うと、画面端に被写体があるときにも、ピントが合った画像を撮ることができます。
- AFロックの操作はシャッターボタンを押し込む前であれば、何回でもやり直せます。

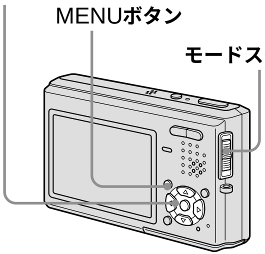
被写体までの距離を設定する – フォーカスプリセット

モードスイッチ：/

被写体との距離に応じて撮影距離をあらかじめ設定して撮影するときや、網や窓ガラス越しの被写体の撮影など、オートフォーカスが効きにくいときにフォーカスプリセットを使うと便利です。

操作の前に

静止画を撮影するときは、メニューの［］（カメラ）を［オート］、［］（拡大鏡モード）以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「」または「」にする

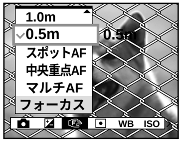
2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［］（フォーカス）、▲/▼で被写体までの距離を選ぶ

被写体までの距離は次の中から選べます。

0.5m、1.0m、3.0m、7.0m、∞（無限遠）



オートフォーカスに戻すには

手順3で［マルチAF］、［中央重点AF］または［スポットAF］を選んでください。

- フォーカス距離の設定は多少の誤差を含んでいます。目安としてお使いください。
- メニューの［］（カメラ）が［］（風景モード）または［］（打ち上げ花火モード）に設定されているときは、被写体までの距離は［∞］（無限遠）に固定されます。

露出を補正する

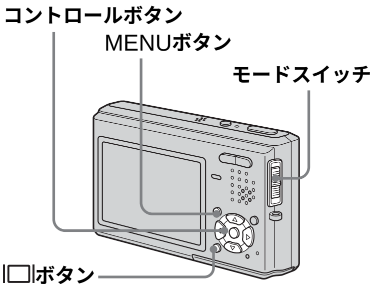
– EV補正

モードスイッチ：📷/🎞

本機が決定した露出を手動で変えることができます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な露出が得られないときに使用します。
補正する数値は＋2.0EVから－2.0EVの範囲で、1/3EVきざみで設定することができます。

操作の前に

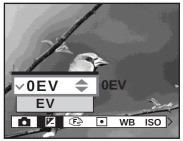
静止画を撮影するときは、メニューの［📷］（カメラ）を［オート］以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「📷」または「🎞」にする

2 MENUボタンを押す
メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［±］（EV）を選ぶ
露出補正値が表示されます。



4 補正値を選ぶ
▲/▼で露出補正値を選びます。
被写体の背景の明るさを液晶画面で確認しながら調節してください。

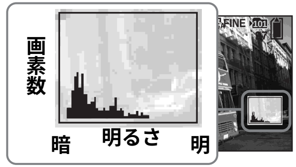
自動露出に戻すには

手順**4**で［0EV］を選んでください。

- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュを使って撮影したときは、設定した補正が効かないことがあります。

ヒストグラムを表示する

ヒストグラムとは、画像の明るさをグラフ化したものです。横軸が明るさ、縦軸が画素数を表しています。グラフの表示が、右側に寄っているときは明るめの画像、左側に寄っているときは暗めの画像となります。画面が見づらいとき、撮影／再生時に露出を確認するときに使います。



1 モードスイッチを「📷」にする

2 |□|ボタンを押してヒストグラムを表示する

3 MENUボタンを押す
メニューが表示されます。

4 ヒストグラムを参考に、露出を調整する

- メニューの［📷］（カメラ）が［オート］のときもヒストグラムは表示されますが、露出の調節はできません。
- 静止画のシングル画面での再生時（**別冊基本編** ➡ 33ページ）、クイックレビュー時（**別冊基本編** ➡ 22ページ）にも、|□|ボタンでヒストグラムを表示することができます。
- 下記の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - ーブラケットモードで撮影した画像のクイックレビュー時
  - ー再生ズーム時
  - ー動画時
- 下記の場合、⊗が表示されます。
  - ーデジタルズーム領域での撮影時
  - ー画像サイズが［3:2］のとき
  - ー静止画の回転時
  - ーマルチ連写再生時
- 撮影前のヒストグラムはそのときに画面に表示されている画像のヒストグラムをあらわしています。シャッターボタンを押す前と押した後では、ヒストグラムに差が生じます。その場合は、シングル画面での再生、またはクイックレビューで確認してください。
  特に下記の場合は大きく差が出ることがあります。
  - ーフラッシュ発光時
  - ー［PFX］（P.エフェクト）が［ソラリ］のとき
  - ーシャッタースピードが遅いとき、または速いとき
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されないことがあります。

💡 撮影のテクニック

通常の撮影時、本機は自動で露出を設定しています。撮影画像を確認し、下の画像のようになっていたら、ヒストグラムを見ながら露出補正値を手動調節することをおすすめします。逆光の人物や雪景色で撮影するときは＋の方向に、画面いっぱいに黒い被写体を撮影するときなどは－方向に補正すると効果的です。



露出不足 → ＋方向に補正



適正な露出



露出過剰 → －方向に補正

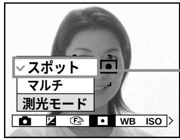
測光モードを選ぶ

モードスイッチ：📷/🎞

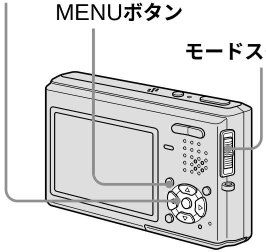
露出を決めるため、明るさを測ります。そのとき被写体のどの部分で明るさを測るのかを下記の2つのモードから選ぶことができます。

マルチパターン測光（表示なし）
画面を多分割し、それぞれを測光します。被写体の位置や背景の明るさをカメラが判断してバランスのよい露出を決めます。お買い上げ時はマルチパターン測光に設定されています。

スポット測光（[●]）
被写体の一部だけを測光します。逆光のときや、被写体と背景とのコントラストが強いときでも、撮りたい被写体に露出を合わせることができます。撮りたいポイントにスポット測光照準を合わせて撮ります。
測光する場所とフォーカスを合わせる場所を一致させたいときは、F（フォーカス）の［中央重点AF］を使うことをおすすめします（8ページ）。



操作の前に
静止画を撮影するときは、メニューの［📷］（カメラ）を［オート］以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 **モードスイッチを「📷」または「🎞」にする**

2 **MENUボタンを押す**
メニューが表示されます。

3 **◀/▶で［●］（測光モード）、▲/▼で希望の測光モードを選ぶ**

最適な露出を探す

– ブラケット

モードスイッチ：

自動的に露出を変えて３枚の画像を連続して撮影できます。被写体の明るさによってうまく撮影できないときに、ブラケット撮影で露出を変えながら撮影すれば、撮影したあと最適な露出の画像を選ぶことができます。

1枚目（＋方向に補正）



2枚目（本機での適正露出）

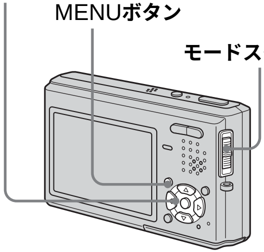


3枚目（－方向に補正）



操作の前に

メニューの［ ］（カメラ）を［オート］、［ ］（拡大鏡モード）、［ ］（夜景モード）、［ ］（夜景＆人物モード）、［ ］（打ち上げ花火モード）以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「 」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［ブラケット］を選ぶ

4 ◀/▶で［BRK］（ブラケット設定）、▲/▼で希望の露出補正量を選ぶ

±1.0EV：露出値を上下に1.0EVずらして撮影します。
±0.7EV：露出値を上下に0.7EVずらして撮影します。
±0.3EV：露出値を上下に0.3EVずらして撮影します。

5 撮影する

通常撮影に戻すには

手順3で［通常撮影］を選んでください。

- フラッシュは使えません。
- 撮影中は液晶画面に画像が出ません。シャッターボタンを押す前に構図を決めておいてください。
- フォーカスとホワイトバランスは、最初の1枚目に設定された値に固定されます。
- EV補正をしているときは（12ページ）、補正した明るさを基準に露出が変わり撮影されます。
- 撮影の間隔は約0.36秒です。
- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときは、設定した補正量で撮影できない場合があります。

色合いを調節する

– ホワイトバランス

モードスイッチ：📷/🎞

ホワイトバランスがオートに設定されているときは、撮影状況に応じてホワイトバランスが自動的に設定され、全体の色のバランスが調整されます。撮影条件を固定したいときや特定の照明状態で撮影するときは、マニュアルで設定することができます。

オート（表示なし）
ホワイトバランスを自動調節する。お買い上げ時はオートに設定されています。

☀（太陽光）
戸外で撮るときや夜景やネオン、花火や日の出、日没前後などを撮る場合

☁（曇天）
くもり空のときに撮影する場合

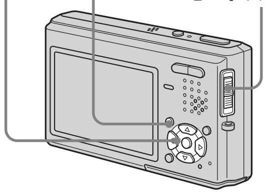
（蛍光灯）
蛍光灯の下で撮影する場合

（電球）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下

⚡WB（フラッシュ）
ホワイトバランスをフラッシュ光のみに合わせたい場合（モードスイッチが「🎞」のときは表示されません）

操作の前に

静止画を撮影するときは、メニューの［📷］（カメラ）を［オート］以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「📷」または「🎞」にする

2 MENUボタンを押す
メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［WB］（ホワイトバランス）、▲/▼で希望の設定を選ぶ

自動調節に戻すには

手順3で［オート］を選んでください。

- ちらつきのある蛍光灯下では、［］を選択してもホワイトバランスが合わないことがあります。
- フラッシュ発光時にはホワイトバランスのマニュアルの設定が解除され、オートモードで撮影されます。（［⚡WB］のときを除く。）
- メニューの［📷］（カメラ）の設定によっては、選択できるホワイトバランスが下記のように限定されます。
  – ［］（夜景&人物モード）のとき：［オート］または［⚡WB］（フラッシュ）のみ
  – ［］（打ち上げ花火モード）のとき：［☀］（太陽光）のみ

フラッシュレベルを選ぶ

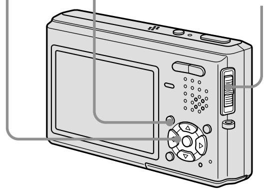
– フラッシュレベル

モードスイッチ：📷

フラッシュを使って撮影するとき、フラッシュの発光量を調節することができます。

操作の前に

メニューの［📷］（カメラ）を［オート］、［🌙］（夜景モード）、［🎆］（打ち上げ花火モード）以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「📷」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［⚡±］（フラッシュレベル）、▲/▼で希望の設定を選ぶ

明： フラッシュの発光量を通常より多くする。

標準： 通常の設定

暗： フラッシュの発光量を通常より少なくする。

- 撮影状況によっては設定した発光量で撮影できない場合があります。

💡 撮影のテクニック

被写体の見ための色は、光の状況に影響されます。夏の太陽のような光の下ではすべてのものが青っぽく見え、電球のような光源の下では白いものが赤っぽく見えます。人間の目にはすぐれた調節機能があり、光が変わってもすぐに正しい色を認識できます。しかし、デジタルスチルカメラは光の影響を大きく受けます。通常、本機は調節を自動で行っていますが、撮影画像を再生してみて画面全体が不自然な色合いのときはホワイトバランスの設定をすることをおすすめします。

連写する

モードスイッチ：

連続撮影するときに使います。シャッターボタンを押しつづけると、最大4枚まで連続して撮影できます。

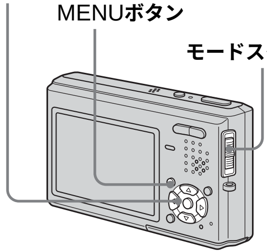
スピード優先連写（）
短い撮影間隔（約0.33秒）で連写します。
連写中は液晶画面に画像が出ません。
シャッターボタンを押す前に構図を決めておいてください。

フレーミング優先連写（）
液晶画面に画像を表示しながら撮影します。撮影間隔（約0.36秒）はスピード優先連写より長くなります。

- " メモリースティック　デュオ "の容量がいっぱいになると、シャッターボタンを押し続けても撮影は停止します。

操作の前に

メニューの［ ］（カメラ）を［ ］（拡大鏡モード）、［ ］（夜景モード）、［ ］（夜景&人物モード）、［ ］（打ち上げ花火モード）以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「 」にする

2 MENUボタンを押す
メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［スピード連写］または［フレーミング連写］を選ぶ

4 撮影する
シャッターボタンを途中で離すと、2枚／3枚連写をすることもできます。
「記録中」という表示が消えると、次の撮影ができます。

通常撮影に戻すには

手順3で［通常撮影］を選んでください。

- フラッシュは使えません。
- セルフタイマー撮影ではシャッターボタンを1回押すと、4枚連続撮影されます。

マルチ連写で画像を撮る

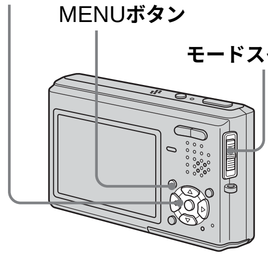
– マルチ連写

モードスイッチ：

1度のシャッターで16コマの画像を連写します。スポーツのフォームチェックなどに適しています。

操作の前に

メニューの［ ］（カメラ）を［ ］（拡大鏡モード）、［ ］（夜景モード）、［ ］（夜景&人物モード）、［ ］（打ち上げ花火モード）以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「📷」にする

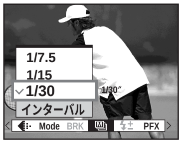
2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［マルチ連写］を選ぶ

4 ◀/▶で［M］（インターバル）、▲/▼でコマ間の希望のインターバルを選ぶ

コマ間のインターバルは［1/7.5］、［1/15］、［1/30］から選ぶことができます。



5 撮影する

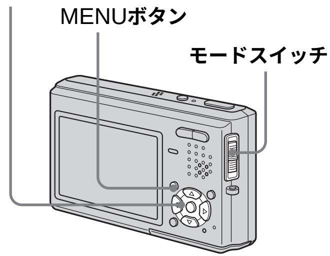
1枚の静止画の中に連続した16コマの画像を記録します（画像サイズ1M）。

- マルチ連写では下記の操作ができません。
  - －スマートズーム
  - －フラッシュ撮影
  - －日付・時刻の挿入
- メニューの［📷］（カメラ）が［オート］のとき、インターバルは［1/30］に固定されます。
- マルチ連写画像を本機で再生するときは、26ページをご覧ください。
- マルチ連写の撮影枚数は64ページをご覧ください。

Eメール添付用の画像を撮る – Eメール

モードスイッチ：📷

Eメール添付に適した、小さいサイズ（320×240）の画像を撮影します。**別冊基本編** ➡ 18ページで選択したサイズの静止画も同時に記録されます。



1 モードスイッチを「📷」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲/▼で［Eメール］を選ぶ

4 撮影する

「記録中」という表示が消えると、次の撮影ができます。

通常撮影に戻すには

手順3で［通常撮影］を選んでください。

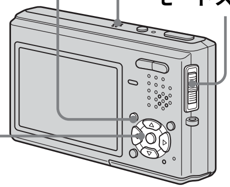
- 撮影した画像をEメールソフトウェアに添付する方法については、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Eメールモードの撮影枚数は64ページをご覧ください。

画像に音声を記録する

– ボイスメモ

モードスイッチ：📷

静止画の撮影時に、音声もいっしょに記録します。



1 モードスイッチを「📷」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［Mode］（撮影モード）、▲で［ボイスメモ］を選ぶ

4 撮影する

シャッターボタンをポンと1回押すと

5秒間音声が記録されます。

シャッターボタンを押し続けると

押し続けている間、音声が記録されます（最長40秒間）。

通常撮影に戻すには

手順3で［通常撮影］を選んでください。

- ボイスメモで撮影した画像を見るには、「液晶画面で動画を見る」（33ページ）と同じ操作を行ってください。
- 撮影するときはマイクに指が触れないようにご注意ください。
- ボイスメモの撮影枚数は64ページをご覧ください。

画像に特殊効果を加えて撮る – ピクチャーエフェクト

モードスイッチ：📷/🎞

画像に特殊効果を加え、メリハリをつけることができます。

ソラリ



明暗をはっきりさせたイラストのように

セピア



古い写真のような色合いに

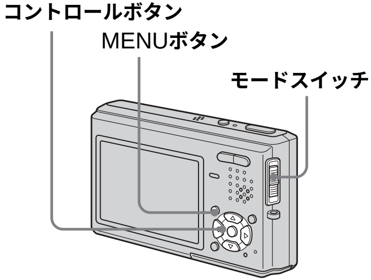
ネガアート



写真のネガフィルムのように

操作の前に

静止画を撮影するときはメニューの［📷］（カメラ）を［オート］以外に設定しておきます（4、65ページ）。



1 モードスイッチを「📷」または「🎞」にする

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［PFX］（P.エフェクト）、▲/▼で希望のモードを選ぶ

4 撮影する

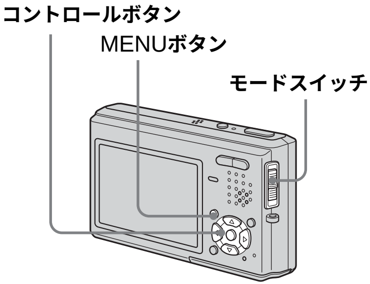
ピクチャーエフェクトを解除するには

手順3で［切］を選んでください。

フォルダを選択して再生する – フォルダ

モードスイッチ：▶

再生したい画像の入っているフォルダを選択します。

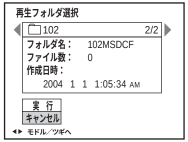


1 モードスイッチを「▶」にする

2 MENUボタンを押す
メニューが表示されます。

3 ◀で［🗀］（フォルダ）を選び、中央の●を押す

4 ◀/▶で再生したいフォルダを表示させる



5 ▲で［実行］を選び、中央の●を押す

再生フォルダの選択を中止するには

手順5で［キャンセル］を選んでください。

"メモリースティック デュオ"に複数のフォルダがあるときは

フォルダ内の最初／最後の画像に下記のマークが表示されます。

↵: 前のフォルダに移動できます。

↳: 次のフォルダに移動できます。

↵↳: 前のフォルダにも、次のフォルダにも移動できます。

シングル画面のとき



インデックス（9枚表示）画面のとき



インデックス（16枚表示）画面のとき

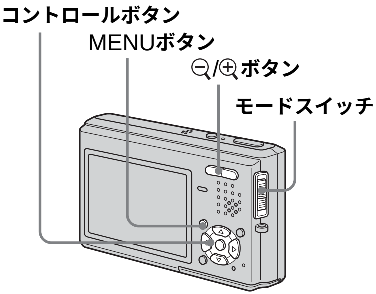


- 再生フォルダ内に画像がないときは、「このフォルダにはファイルがありません」と表示されます。
- 再生フォルダを選択しなくても最後に撮影した画像から再生できます。

静止画の一部を拡大する

モードスイッチ：▶

撮影した画像を元の画像の5倍まで拡大することができます。また、拡大した画像を新しいファイルとして記録することができます。



画像を拡大する – 再生ズーム

1 モードスイッチを「▶」にする

2 ◀/▶で拡大したい画像を表示する

3 ⊕（再生ズーム）ボタンを押して、画像を拡大する

4 ▲/▼/◀/▶を繰り返し押して、拡大したい部分を選ぶ



▲：画像の上側を見るとき
▼：画像の下側を見るとき
◀：画像の左側を見るとき
▶：画像の右側を見るとき

5 ⊖/⊕（再生ズーム）ボタンで画像の大きさを調節する



拡大表示をやめるには

中央の●を押してください。

- 動画／マルチ連写画像は再生ズームできません。
- 拡大していない画像が表示されているときに⊖（再生ズーム）ボタンを押すと、インデックス画面に切り換わります（**別冊基本編** ➡ 34ページ）。
- クイックレビュー（**別冊基本編** ➡ 22ページ）で表示した画像も手順**3**から**5**の操作で拡大することができます。

拡大した画像を記録する
– トリミング

1 再生ズーム後にMENU**ボタンを押す**

メニューが表示されます。

2 ▶で［トリミング］を選び、中央の●を押す

3 ▲/▼で画像サイズを選び、中央の●を押す

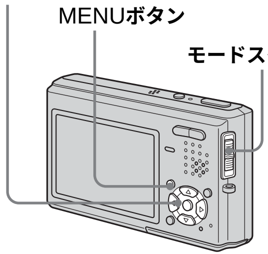
画像が記録され、拡大前の画像表示に戻ります。

- トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録フォルダに記録されます。元の画像はそのまま残ります。
- トリミングした画像は画質が劣化する場合があります。
- 3:2の画像サイズにトリミングすることはできません。
- クイックレビューで表示した画像はトリミングできません。

連続して再生する
– スライドショー

モードスイッチ：▶

撮影した画像を順番に再生します。画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。



1 モードスイッチを「▶」にする

2 MENU**ボタンを押す**

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［ ］（スライドショー）を選び、中央の●を押す

▲/▼/◀/▶で下記の設定を選んでください。

間隔設定

3秒／5秒／10秒／30秒／1分

再生画像

フォルダ内：選択しているフォルダ内の画像がすべて再生される。

全て：“ メモリースティック　デュオ ”内の画像がすべて再生される。

繰り返し

入： 繰り返し再生される。

切： すべての画像が再生されると、スライドショーは終わる。

4 ▼/▶で［スタート］を選び、中央の●を押す

スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するには

手順3で［キャンセル］を選んでください。

スライドショーの再生を中止するには

中央の●を押して、▶で［終了］を選び、●を押してください。

スライドショー再生中に画像を送る／戻すには

▶（送り）または◀（戻し）を押してください。

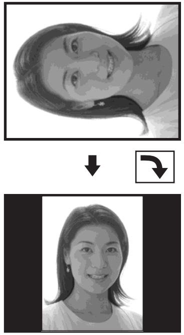
- ［間隔設定］の設定時間は目安です。再生画像のサイズなどにより、変わることがあります。

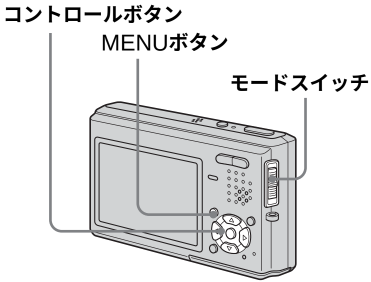
静止画を回転する

– 回転

モードスイッチ：▶

カメラを縦にして撮影した画像を、回転して表示することができます。





1 モードスイッチを「▶」にして、回転させたい画像を表示する

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［回転アイコン］（回転）を選び、中央の●を押す

4 ▲で［↶ ↷］を選び、◀/▶で画像を回転させる

5 ▲/▼で［実行］を選び、中央の●を押す

回転を中止するには

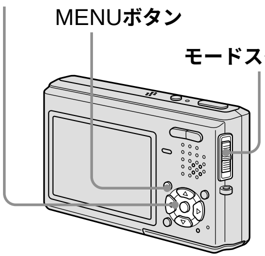
手順4または5で［キャンセル］を選んでください。

- プロテクトされている画像／動画／マルチ連写画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

マルチ連写の画像を再生する

モードスイッチ：▶

マルチ連写で撮影した画像を順番に再生したり、1コマずつ再生したりすることができます。画像のチェックなどに便利です。

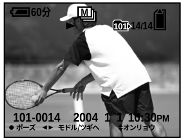


- パソコンで再生すると撮影された16コマが1枚の画像として同時に表示されます。マルチ連写機能のないカメラで再生した場合も同様です。
- マルチ連写画像は分割できません。

連続して再生する

1 モードスイッチを「▶」にする

2 ◀/▶でマルチ連写の画像を選ぶ
マルチ連写画像が順番に再生されます。



一時停止するには

中央の●ボタンを押してください。解除するときは、もう1度中央の●を押してください。表示されていたコマから連続再生が始まります。

1コマずつ再生する

1 モードスイッチを「▶」にする

2 ◀/▶でマルチ連写の画像を選ぶ
マルチ連写画像が順番に再生されます。

3 コマ再生したい場所で中央の●を押す
コマ再生表示が表示されます。



4 ◀/▶で画像を送る
▶: 次のコマが表示されます。
押し続けるとコマが順送りされます。
◀: 前のコマが表示されます。
押し続けるとコマが逆送りされます。

連続再生に戻るには

手順4で中央の●を押してください。表示されていたコマから連続再生が始まります。

撮影した画像を削除するには

マルチ連写で撮影した画像は希望のコマのみを削除することができません。削除を実行すると、16コマすべてが削除されます。

1 削除したいマルチ連写の画像を表示する。

2 ⊞/🗑（削除）ボタンを押す。

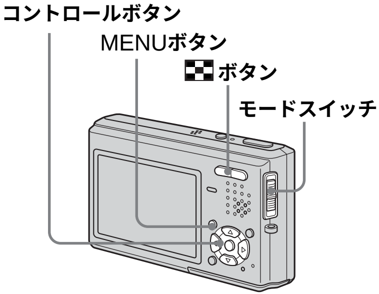
3 ［削除］を選び、中央の●を押す。
すべてのコマが削除されます。

画像を保護する

– プロテクト

モードスイッチ：▶

大切な画像を誤って消さないように保護します。



- フォーマットするとプロテクトした画像も消去され、元にもどせないのでご注意ください。

シングル画面のとき

1 モードスイッチを「▶」にする

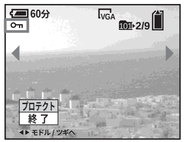
2 ◀/▶でプロテクトをかけたい画像を表示する

3 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

4 ◀/▶で［⊶］（プロテクト）を選び、中央の●を押す

表示されている画像にプロテクトがかかり、⊶（プロテクト）マークが付きます。



5 他の画像にもプロテクトをかけたいときは、◀/▶でプロテクトをかけたい画像を表示し、中央の●を押す

プロテクト指定を解除するには

手順4または5でもう1度中央の●を押してください。⊶マークが消えます。

インデックス（9枚／16枚表示）画面のとき

1 モードスイッチを「▶」にして、（インデックス）ボタンを1回押してインデックス（9枚表示）画面にする

16枚表示にするには（インデックス）ボタンを2回押します。

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ◀/▶で［⊶］（プロテクト）を選び、中央の●を押す

4 ◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す

5 プロテクトをかけたい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す

選んだ画像に緑色の⊶マークが付きます。



6 他の画像にもプロテクトをかけたいときは、手順5を繰り返す

7 MENUボタンを押す

8 ▶で［実行］を選び、中央の●を押す

O-ᴨマークが白色に変わり、選択した画像にプロテクトがかかります。

プロテクトを中止するには

手順4で［キャンセル］を、または手順8で［終了］を選び、中央の●を押してください。

プロテクト指定を解除するには

手順5でプロテクトを解除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押してください。O-ᴨマークがグレーに変わります。プロテクトを解除したいすべての画像について繰り返してください。次にMENUボタンを押し、［実行］を選び、中央の●を押してください。

フォルダ内のすべての画像をプロテクトするには

手順4で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押してください。次に［入］を選び、中央の●を押してください。

フォルダ内のすべての画像のプロテクト指定を解除するには

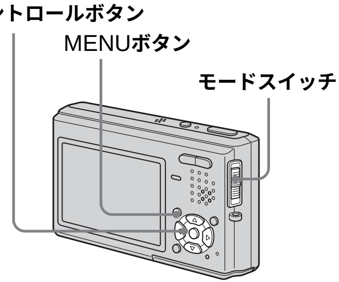
手順4で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押してください。次に［切］を選び、中央の●を押してください。

画像のサイズを変える

– リサイズ

モードスイッチ：▶

撮影した画像のサイズを変えて、新しいファイルとして記録できます。
5M、3M、1M、VGAのサイズに変えられます。
リサイズしたあとも元の画像はそのまま残ります。



1 モードスイッチを「▶」にする

2 ◀/▶でサイズを変えたい画像を表示する

3 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

静止画を編集する

4 **◀/▶で［ ］（リサイズ）を選び、中央の●を押す**

5 **▲/▼で変更したいサイズを選び、中央の●を押す**

リサイズした画像は選択している記録フォルダに一番新しいファイルとして記録されます。

リサイズを中止するには

手順**5**で［キャンセル］を選んでください。

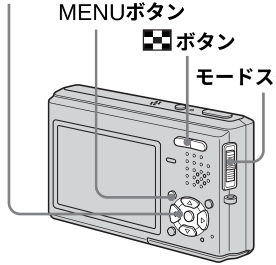
- 動画／マルチ連写画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画像が劣化します。
- 3:2の画像サイズにリサイズすることはできません。
- 3:2の画像をリサイズすると、画像の上下に黒い帯が入ります。

プリントしたい画像を選ぶ

– プリント予約マーク

モードスイッチ：▶

プリントしたい画像をあらかじめ本機で予約することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店やプリンターで画像をプリントするときなどに便利な機能です。



- 動画で撮影した画像にはプリント予約マークは付けられません。
- Eメールモードのときは、同時に記録された通常サイズの画像にプリント予約マークが付きます。
- マルチ連写で撮影した画像は16分割された1枚の画像としてプリント予約マークが付きます。
- プリント枚数の設定はできません。

シングル画面のとき

1 モードスイッチを「▶」にする

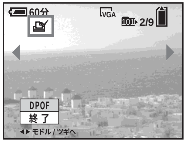
2 ◀/▶でプリント予約したい画像を表示する

3 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

4 ◀/▶で［DPOF］（DPOF）を選び、中央の●を押す

表示されている画像に（プリント予約）マークが付きます。



5 他の画像にもプリント予約マークを付けたいときは、◀/▶でプリント予約したい画像を表示し、中央の●を押す

プリント予約マークを消すには

手順4または5でもう1度中央の●を押してください。マークが消えます。

インデックス（9枚／16枚表示）画面のとき

1 モードスイッチを「▶」にして、（インデックス）ボタンを1回押してインデックス（9枚表示）画面にする

16枚表示にするには（インデックス）ボタンを2回押します。

2 MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ▶で［DPOF］（DPOF）を選び、中央の●を押す

4 ◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す

- ［フォルダ内全て］で、マークを付けることはできません。

5 プリント予約したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す

選んだ画像に緑色のマークが付きます。



6 他の画像にもプリント予約マークを付けたいときは、手順5を繰り返す

7 MENUボタンを押す

8 ▶で［実行］を選び、中央の●を押す

マークが白色に変わり、設定が完了します。

プリント予約マークを消すには

手順5でマークを消したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押し てください。

フォルダ内のすべての画像のプリント予約マークを消すには

手順4で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押してください。次に［切］を選び、中央の●を押してください。

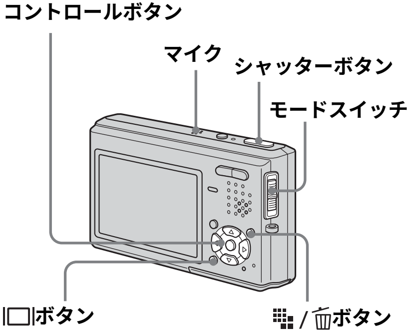
プリント予約マークを中止するには

手順4で［キャンセル］を、または、手順8で［終了］を選んでください。

動画を撮る

モードスイッチ：

音声付きの動画を撮影できます。



1 モードスイッチを「」にする

2 /（画像サイズ）ボタンを押す

画像サイズが表示されます。

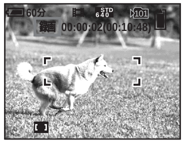
3 ▲/▼で希望のサイズを選ぶ

［640（ファイン）］、［640（スタンダード）］、［160］から選べます。

- ［640（ファイン）］は“メモリースティック PRO デュオ”のみに記録できます。

4 シャッターボタンを深く押し込む

「録画」と表示され、動画と音声の記録が始まります。



“メモリースティック デュオ”の容量がいっぱいになると停止します。

5 録画を止めるには、シャッターボタンをもう1度深く押し込む

撮影中の画面上の表示は

動画には記録されません。

ボタンを押すたびに、画面表示オフ→バックライトオフ→画面表示オンの順で変わります。

ヒストグラムは表示されません。

表示される項目について詳しくは、81ページをご覧ください。

近接（マクロ）撮影する

モードスイッチを「」にしてから、**別冊基本編 ➡** 25ページの手順に従ってください。

セルフタイマーで撮影する

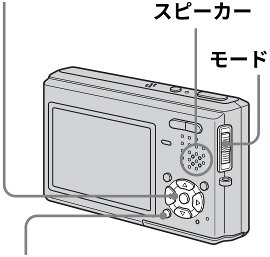
モードスイッチを「」にしてから、**別冊基本編 ➡** 26ページの手順に従ってください。

- 撮影するときは、マイクに指が触れないようにご注意ください。
- 動画撮影中は下記の操作ができません。
  - ーズーム倍率の変更
  - ーフラッシュ撮影
  - ー日付・時刻の挿入
- A/V OUT（MONO）端子にA/V接続ケーブル（付属）がつながっているとき、［640（ファイン）］に設定すると、画面での撮影画像の表示ができません。画面は青くなります。
- 各サイズによる記録時間については、64ページをご覧ください。

液晶画面で動画を見る

モードスイッチ：▶

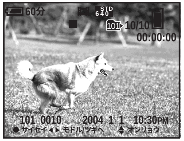
本機の液晶画面で動画を見ることができます。音声も本機のスピーカーから聞こえます。



1 モードスイッチを「▶」にする

2 ◀/▶で見たい動画を選ぶ

画像サイズ［640（ファイン）］または［640（スタンダード）］で撮影した動画は液晶画面いっぱいに表示されます。



画像サイズ［160］で撮影した動画はひとまわり小さく表示されます。

3 中央の●を押す

動画と音声が再生されます。
再生中は▶（再生）が液晶画面に表示されます。



再生を止めるには

中央の●をもう1度押してください。

音量を調節するには

▲/▼で調節してください。

早送り／巻き戻しをするには

再生中に▶（送り）または◀（戻し）を押してください。
通常の再生に戻るには、中央の●を押してください。

動画再生中の画面上の表示は

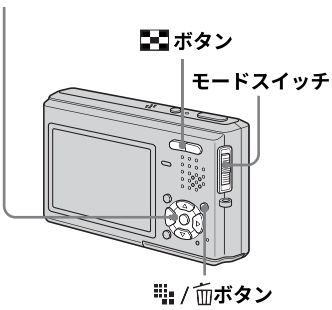
|□|ボタンを押すたびに、画面表示オフ→バックライトオフ→画面表示オンの順で変わります。
ヒストグラムは表示されません。
表示される項目について詳しくは、83ページをご覧ください。

- 動画をテレビで見る方法は、静止画と同じです（**別冊基本編** ➡ 35ページ）。
- 当社従来モデルで撮影した動画を再生すると、ひとまわり小さく表示される場合があります。

動画を削除する

モードスイッチ：▶

不要な動画を削除します。



- プロテクトした動画は削除できません。
- 1度削除すると元にもどせないのでご注意ください。

シングル画面のとき

1 モードスイッチを「▶」にする

2 ◀/▶で削除したい動画を表示する

3 / 🗑（削除）ボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

4 ▲で［削除］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が出て、動画が削除されます。

5 他の動画も削除するときは、◀/▶で削除したい動画を表示し、手順4を繰り返す

削除を中止するには

手順4または5で［終了］を選んでください。

インデックス（9枚／16枚表示）画面のとき

1 モードスイッチを「▶」にして、（インデックス）ボタンを1回押してインデックス（9枚表示）画面にする

16枚表示にするには（インデックス）ボタンを2回押します。

2 / 🗑（削除）ボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

3 ◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す

4 削除したい動画を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す

選んだ動画に🗑（削除）マークが付きます。



この時点ではまだ削除されていません。

5 **他の動画も削除するときは、手順4を繰り返す**

6 **/（削除）ボタンを押す**

7 **▶で［実行］を選び、中央の●を押す**

「アクセス中」という表示が出て、動画が削除されます。

削除を中止するには

手順3または7で［終了］を選んでください。

フォルダ内のすべての画像を削除するには

手順3で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押してください。次に▶で［実行］を選び、中央の●を押してください。削除を中止するときは、◀で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

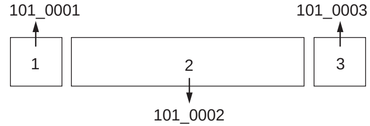
モードスイッチ：▶

撮影した動画を分割したり、不要な部分を削除することができます。“メモリースティック　デュオ”の容量が足りないときやEメールに添付するときに便利です。

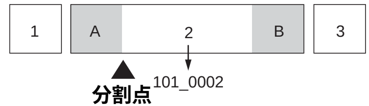
分割したときのファイル番号は右記のようになります

分割した動画は、最新のファイルとして、それぞれ新しい番号を割り振られ、選択している記録フォルダに記録されます。分割する前の元の動画は削除され、そのファイル番号は欠番になります。

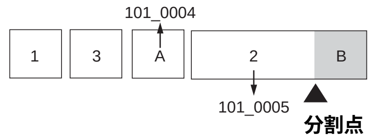
〈例〉101_0002の動画を分割した場合



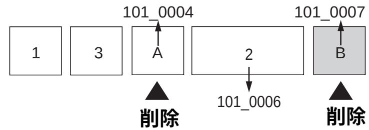
1　シーンAを切り離す



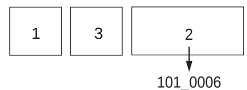
2　シーンBを切り離す



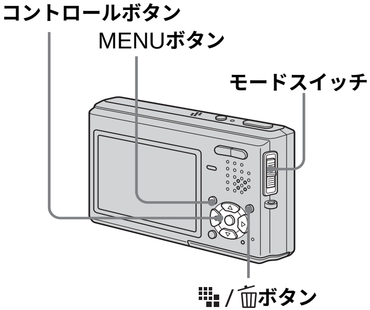
3　シーンAとBが不要なら削除する



4　必要なシーンだけが残る



動画を分割する



1 モードスイッチを「▶」にする

2 ◀/▶で分割したい動画を表示する

3 MENUボタンを押す

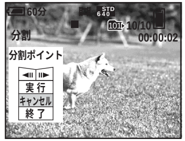
メニューが表示されます。

4 ▶で［ ］（分割）を選び、中央の●を押す。▲で［実行］を選び、中央の●を押す

動画が再生されます。

5 分割する位置を決める

分割したい位置で、中央の●を押してください。



分割する位置を微調整したいときは、［◀II/II▶］（コマ送り／コマ戻し）を選び、◀/▶で微調整します。分割する場所を選びなおしたいときは、［キャンセル］を選んでください。動画の再生が再開します。

6 分割する位置を決めたら、▲/▼で［実行］を選び、中央の●を押す

7 ▲で［実行］を選び、中央の●を押す

動画が分割されます。

分割を中止するには

手順5または7で［終了］を選んでください。再生画面に戻ります。

- 下記の画像は分割できません。
  - 静止画
  - 分割できる充分な長さのない動画
  - プロテクトされている動画
- 1度分割した動画は元にもどせません。
- 分割すると、元の動画は削除されます。
- 分割された動画は選択している記録フォルダに一番新しいファイルとして記録されます。

動画の不要な部分を削除する

1 動画の不要な部分を分割する
（36ページ）

2 削除したい部分の動画を表示する

3 ⊞/🗑（削除）ボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

4 ▲で［削除］を選び、中央の●を押す

表示されている動画が削除されます。

- 1度不要な部分を削除した動画は元にもどせないのでご注意ください。

「Image Transfer」をインストールする

「Image Transfer」はWindowsのみに対応しています。
本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「Image Transfer」（イメージトランスファー）を使うと、本機で撮影した画像をお使いのパソコンに簡単に取り込むことができます。

- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了してください。
- 「Image Transfer」をお使いになるためには、USBドライバが必要です。お使いのパソコンに必要なドライバがインストールされていないときは、ドライバのインストールをうながす画面が表示されます。このときは、画面の指示に従って操作してください（**別冊基本編** ➡ 44ページ）。

1 パソコンの電源を入れる

- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。
- Windows XPをお使いの方は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

2 CD-ROM（付属）を、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。



機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイコンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする



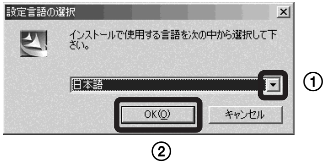
インストールメニューが表示されます。

4 インストールメニュー画面の中の「Image Transfer」をクリックする



「設定言語の選択」画面が表示されます。

5 [▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする

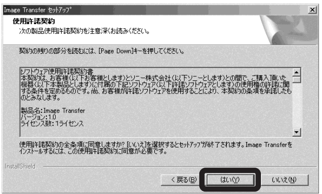


「Image Transfer セットアップへようこそ」画面が表示されます。

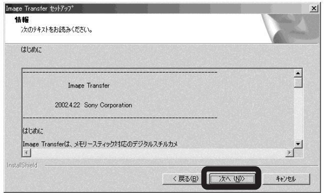
6 ［次へ］をクリックする

「使用許諾契約」画面が表示されたら、［はい］をクリックする。
ソフトウェア使用許諾契約書の内容をよくご確認ください。同意された場合は、インストールの手順に進みます。「情報」画面が表示されます。



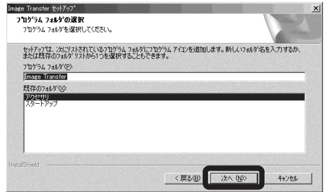


7 ［次へ］をクリックする



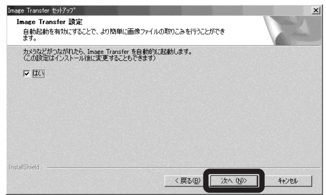
8 「インストール先の選択」画面でインストールするフォルダを選び、［次へ］をクリックする。「プログラムフォルダの選択」画面でプログラムフォルダを選び、［次へ］をクリックする





9 「カメラなどがつながれたらImage Transferを自動的に起動します。」の「はい」がチェックされているのを確認し、［次へ］をクリックする

「Image Transfer」のインストールが始まります。
インストールが終わると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。

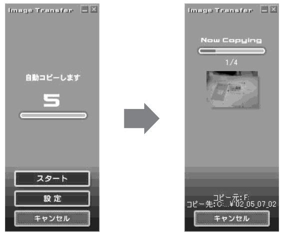


「Image Transfer」で画像をコピーする

❿ ［完了］をクリックする

インストール画面が閉じます。





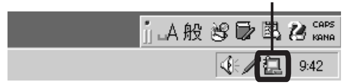
- 通常は「マイドキュメント」フォルダ内に「Image Transfer」、「日付」フォルダが作成され、その中に画像ファイルがすべてコピーされます。
- 「Image Transfer」の設定は設定画面で変更できます（41ページ）。
- 「ImageMixer」（42ページ）がインストールされていると、「Image Transfer」で画像をコピーしたあとに「ImageMixer」が自動起動し、画像一覧が表示されます。

別冊基本編 ➡ 47～48ページの操作を行い、本機とパソコンをUSBケーブル（付属）でつないでください。

「Image Transfer」が自動起動し、“ メモリースティック　デュオ ”内の画像がコピーされます。

- Windows XPをお使いの場合は、41ページをご覧ください。
- 「Image Transfer」が自動起動しない場合は、タスクトレイの「Image Transfer」のアイコンをダブルクリックして起動してください。

ここをダブルクリック



Windows XPの場合

Windows XPでは、自動再生ウィザードが起動するように設定されています。自動再生ウィザードを起動しないようにするには、下記の手順で設定を解除してください。

1 本機とパソコンをUSBケーブル（付属）で接続する（**別冊基本編** ⟶ 47ページ）

2 ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする

3 ［Sony MemoryStick］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 設定を解除する



① ［自動再生］をクリックする

②「内容の種類」を［画像］にする

③「動作」の［実行する動作を選択］をチェックして［何もしない］を選び、［適用］をクリックする

④「内容の種類」を［ビデオファイル］にして手順③を行い、次に「内容の種類」を[混在したコンテンツ]にして手順③を行う

⑤ ［OK］をクリックする
「プロパティ」画面が閉じます。

「Image Transfer」の設定を変更する

「Image Transfer」の設定を変更することができます。
タスクトレイの「Image Transfer」のアイコンを右クリックし［設定画面を開く］を選んでください。
設定できるのは、「基本の設定」、「コピーの設定」、「削除の設定」です。



「Image Transfer」が起動すると、下記の画面が表示されます。



「Image Transfer」起動時に［設定］を選んだ場合は、「基本の設定」のみ変更できます。

「ImageMixer」をインストールする

「ImageMixer」**はWindows、Macintosh（Mac OS Xを除く）ともに対応しています。**

本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「ImageMixer Ver.1.5 for Sony（イメージミキサーバージョン1.5フォーソニー）」を使うと、本機で撮影した画像をお使いのパソコンで手軽に楽しめます。

- パソコンの使用動作環境について詳しくは、CD-ROMに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- Windowsをお使いの方は「Image Transfer」（38ページ）で簡単にパソコンに画像を取り込むことができます。本機からパソコンへ画像のコピーのみ行うという方に最適です。

ImageMixerに関するお問い合わせ
ピクセラユーザーサポートセンター
電話：06-6633-3900
受付時間：月〜日　午前9時〜午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
URL：http://www.imagemixer.com

Windowsの場合

1 パソコンの電源を入れる

- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。
- Windows XPをお使いの方は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

2 CD-ROM（付属）を、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。



機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイコンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする



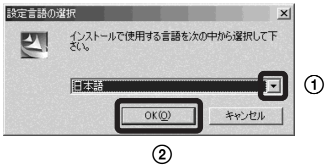
インストールメニューが表示されます。

4 インストールメニュー画面の中の「ImageMixer」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする



「設定言語の選択」画面が表示されます。

5 **[▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする**



「ImageMixer用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

6 **画面の指示に従って操作する**

続けて指示に従って「ImageMixer」と「WinCDR Lite for Data」のインストールを行う。

インストール完了後、DirectXの「情報」画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールし、再起動してください。そのあと、手順**8**に進んでください。

7 **画面の指示に従って再起動する。**

8 **パソコンからCD-ROMを取り出す**

Macintoshの場合

1 パソコンの電源を入れる。
- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、32000色モード以上にしてください。

2 CD-ROM（付属）を、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
機種選択画面が表示されます。

3 機種選択画面の中の「Cyber-shot」をクリックする。

4 インストールメニュー画面の中の「ImageMixer」をクリックする。

5 リストボックスから［日本語］を選択し、［Install］ボタンをクリックする。

6 画面の指示に従って操作する。
インストール画面の「完了」ボタンをクリックしてインストール画面を閉じてください。

7 をクリックしてタイトル画面を閉じる。

8 パソコンからCD-ROMを取り出す。

「ImageMixer」で画像を取り込む

「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って、本機からパソコンに画像を取り込みます。

操作の前に

別冊基本編 ━━▶ 47～48ページの操作を行い、本機とパソコンをUSBケーブル（付属）でつなぎ、本機を準備してください。

- 「ImageMixer」の使いかたについて詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

Windowsの場合

ここでは、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーします。

1 「ImageMixer」を起動する

デスクトップ画面上の（ImageMixer Ver.1.5 for Sony）をダブルクリックしてください。
「ImageMixer」が起動し、メイン画面が表示されます。

2 をクリックする

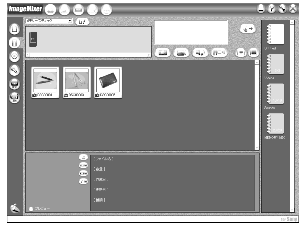


画像を取り込むための画面が表示されます。

3 画像をパソコンに取り込む

① 画面左上のをクリックする。

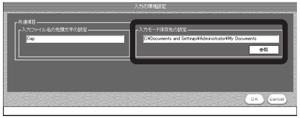
② 画面左上のをクリックする。
“ メモリースティック　デュオ ” 内の画像が一覧表示されます。



③ 画面右上のをクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

Macintoshの場合

④「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、表示される「フォルダの参照」画面で［マイドキュメント］をクリックして、［OK］をクリックする。



⑤ OK をクリックする。

⑥ 画面右上のをクリックする。

⑦ パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする。
画像がパソコンに取り込まれます。

- 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

1「ImageMixer」を起動する。

2 をクリックする。

3 画像をパソコンに取り込む

① 画面左上のをクリックする。

② 画面左上のをクリックする。
“メモリースティック　デュオ”内の画像が一覧表示されます。

③ 画面右上のをクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

④「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、画像の保存先を選び、［OK］をクリックする。

⑤ OK をクリックする。

⑥ 画面右上のをクリックする。

⑦ パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする。
画像がパソコンに取り込まれます。

- 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

「ImageMixer」で画像を見る

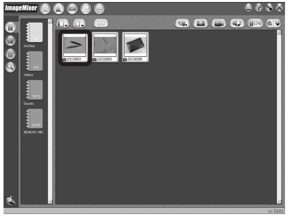
44、45ページでパソコンに取り込んだ画像を「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って見ます。

• 「ImageMixer」を使うと、取り込んだ画像を編集することもできます。詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

Windowsの場合

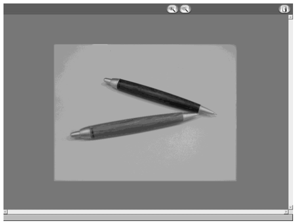
1 をクリックする

画像を見るための画面が表示されます。



2 表示したい画像をダブルクリックする

選んだ画像が表示されます。



動画を再生するには(►)、再生を停止するには(■)をクリックしてください。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックしてください。

Macintoshの場合

1 をクリックする。

2 表示したい画像をダブルクリックする。
選んだ画像が表示されます。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックしてください。

• 画像の表示ができない場合は、仮想メモリの容量を増やしてください。

「ImageMixer」で画像を印刷する

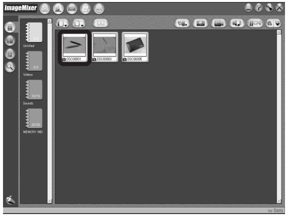
「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」で開いた画像をプリンタで印刷します。
あらかじめプリンタとパソコンを接続し、両方の機器の電源を入れておきます。
プリンタの接続や設定などについて詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

• 動画の場合は先頭のシーンが印刷の対象となります。

Windowsの場合

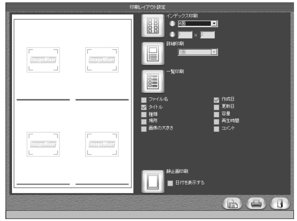
1 画像を表示する
46ページの手順1の操作を行ってください。

2 印刷したい画像をクリックする



3 をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする
「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

4 レイアウトを設定する
お好みに応じて設定してください。

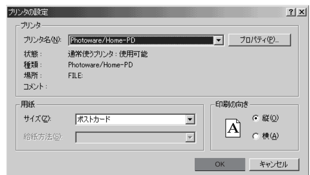


通常は画面下の をクリックします。

5 用紙の設定をする

① 画面右下の をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

② 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、［OK］をクリックする。



6 印刷する

① 画面右下の をクリックする。
「印刷」画面が表示されます。

② ［OK］をクリックする。



画像が印刷されます。

印刷できないときは

プリンタの接続や設定が正しいかどうか確認してください。詳しくは、お使いのプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 印刷する画像サイズ、パソコン環境などによっては、印刷に時間がかかることがあります。

Macintoshの場合

1 画像を表示する。

2 印刷したい画像をクリックする。

3 をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする。
「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

4 レイアウトを設定する。
通常は画面下の をクリックします。

5 をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

6 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、［OK］をクリックする。

7 をクリックする。
「印刷」画面が表示されます。

8［プリント］をクリックする。
画像が印刷されます。

「ImageMixer」でビデオCDを作成する

「ImageMixer Ver. 1.5 for Sony」でビデオCDを作成することができます。作成したビデオCDはビデオCD対応のDVDプレーヤーで再生できます。パソコンをお使いの場合、ビデオCD対応のアプリケーションソフトで再生できます。

1 「ImageMixer」を起動する

2 をクリックする



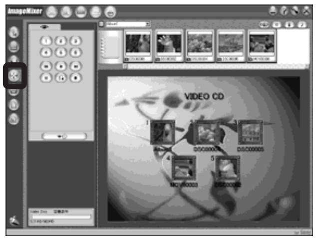
ビデオディスク作成モードが起動します。

3 ファイルやアルバムをメニュー画面にコピー&ペーストする

メニュー画面に画像が追加されます。



4 をクリックする



プレビューを行うこともできます。

5 をクリックする

ディスク作成のダイアログが表示されます。



6 CD-Rドライブに新しいCD-Rを入れて［OK］ボタンをクリックする

ディスクの作成が始まります。

- CD-RWはお使いになれません。
- ビデオCDの作成にはCD-Rドライブが必要です。

Macintosh版についてのご注意

- ビデオCDのライティングを行うにはRoxio社のToast（別売り）が必要です。
- プレビューの表示で動画ファイルの再生時間が短くなることがあります。

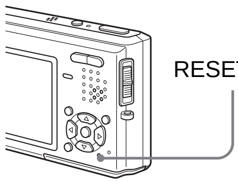
故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

1 50〜60ページの項目をチェックし、本機を点検する

液晶画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。63ページをご覧ください。

2 コントロールボタンの右下にあるRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる
（この操作を行うと、日時などの設定は解除されます）



3 デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページで確認する
http://www.sony.co.jp/support-di/

4 テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）

バッテリー・電源

症状	原因	処置
バッテリーが充電できない。	• 本機の電源が入っている。 • 正しく入れていない。	→ 本機の電源を切る（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。 → バッテリーを正しく入れる（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。
バッテリー充電中、ϟ/CHG**ランプが点滅する。**	• バッテリーが正しく取り付けられていない。 • バッテリーが故障している。 • バッテリーが消耗している。	→ バッテリーを正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 → テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。 → ACアダプターを1度抜き差ししてから、バッテリーを充電する（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。

症状	原因	処置
バッテリー充電中、⚡/CHGランプが点灯していない。	• ACアダプターがはずれている。 • ACアダプターが故障している。 • バッテリーが正しく取り付けられていない。 • 充電が完了している。 • 本機がUSBクレードルに正しく取り付けられていない。 • バッテリーが消耗している。	➔ きちんと接続し直す（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 ➔ テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。 ➔ バッテリーを正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 — ➔ 正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 8ページ）。 ➔ ACアダプターを1度抜き差ししてから、バッテリーを充電する（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。
バッテリーの残量表示が正しくない。またはバッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	• 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 • 残量表示機能と実際の残量にズレが生じた。 • バッテリーが消耗している。 • バッテリーそのものの寿命（77ページ）。	➔ 76ページをご覧ください。 ➔ バッテリーを使い切ったあと充電すると、残量表示機能が正しくなる（**別冊基本編** ➡ 11ページ）。 ➔ 充電されたバッテリーを取り付ける（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 ➔ 新しいバッテリーと交換する。
バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮影／再生している。 • バッテリー端子が汚れている。 • バッテリーそのものの寿命（77ページ）。	— ➔ バッテリー端子を綿棒などで掃除してから充電する。 ➔ 新しいバッテリーと交換する。
電源が入らない。	• バッテリーが正しく取り付けられていない。 • ACアダプターがはずれている。 • ACアダプターが故障している。 • バッテリーが消耗している。 • バッテリーそのものの寿命（77ページ）。 • 本機がUSBクレードルに正しく取り付けられていない。	➔ バッテリーを正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 ➔ きちんと接続し直す（**別冊基本編** ➡ 13ページ）。 ➔ テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。 ➔ 充電されたバッテリーを取り付ける（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 ➔ 新しいバッテリーと交換する。 ➔ 正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 8ページ）。

症状	原因	処置
電源が途中で切れる。	• 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。 • バッテリーが消耗している。 • 本機がUSBクレードルに正しく取り付けられていない。	➔ 電源を入れ直すか、ACアダプターを使う（**別冊基本編** ➡ 14、13ページ）。 ➔ 充電されたバッテリーを取り付ける（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 ➔ 正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 8ページ）。

静止画／動画を撮る

症状	原因	処置
電源を入れても液晶画面がつかない。	• 暗い場所で|　|ボタンを押してバックライトがオフになっている。	➔ |　|ボタンを押してバックライトをオンにする（**別冊基本編** ➡ 23ページ）。
液晶画面に被写体が写らない。	• モードスイッチが「」または「」になっていない。	➔ モードスイッチを「」または「」にする（32ページ、**別冊基本編** ➡ 20ページ）。
動画撮影時、液晶画面が青くなって被写体が写らない。	• A/V OUT（MONO）端子にA/V接続ケーブルがつながった状態で、画像サイズが［640（ファイン）］に設定されている。	➔ A/V接続ケーブルを抜く。 ➔ 画像サイズを［640（ファイン）］以外にする。
フォーカスが合わない。	• 被写体が近すぎる。 • 静止画撮影時、メニューの［ ］（カメラ）の［ ］（拡大鏡モード）、［ ］（夜景モード）、［ ］（風景モード）または［ ］（打ち上げ花火モード）が選ばれている。 • フォーカスプリセットになっている。	➔ 近接（マクロ）撮影モードにし、最短撮影距離よりもカメラを離して撮影する（**別冊基本編** ➡ 25ページ）。または、メニューの［ ］（カメラ）を［ ］（拡大鏡モード）にして、被写体までの距離を1 cmから20 cm離してピントを合わせる（**別冊基本編** ➡ 30ページ）。 ➔ ［ ］（拡大鏡モード）、［ ］（夜景モード）、［ ］（風景モード）、［ ］（打ち上げ花火モード）以外にする（**別冊基本編** ➡ 30ページ）。 ➔ オートフォーカスに戻す（11ページ）。

症状	原因	処置
ズームができない。	• 動画撮影中はズーム倍率を変更できない。	—
光学ズームができない。	• 静止画撮影時、メニューの［📷］（カメラ）の［🔍］（拡大鏡モード）が選ばれている。	→ ［🔍］（拡大鏡モード）以外にする（**別冊基本編** ➡ 30ページ）。
デジタルズームができない。	• セットアップ画面の［デジタルズーム］が［切］になっている。 • 画像サイズが［5M］または［3:2］になっている（スマートズームのときのみ）。 • マルチ連写で撮影している（スマートズームのときのみ）。	→ ［スマート］または［プレシジョン］にする（5、69ページ）。 → 画像サイズを［5M］または［3:2］以外にする（**別冊基本編** ➡ 18ページ）。 → セットアップ画面の［デジタルズーム］を［プレシジョン］にする（5、69ページ）。
画像が暗い。	• 逆光になっている。 • 液晶画面が暗い。 • バックライトをオフにしている。	→ 露出を補正する（12ページ）。 → 画面の明るさを調節する（5、70ページ）。 → [□]ボタンを押してバックライトをオンにする（**別冊基本編** ➡ 23ページ）。
画像が明るい。	• 舞台撮影など、暗いところでスポットライトが当たっている状態で撮影している。 • 液晶画面が明るい。	→ 露出を補正する（12ページ）。 → 画面の明るさを調節する（5、70ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	• スミアという現象。	→ 故障ではない。
暗い場所で液晶画面を見ると画像にノイズが目立つ。	• 暗い場所でも確認できるように、液晶画面を一時的に明るくする機能が働いている。	→ 撮影される画像には影響ありません。
撮影できない。	• "メモリースティック　デュオ"が入っていない。 • "メモリースティック　デュオ"の容量がいっぱいになっている。	→ "メモリースティック　デュオ"を入れる（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。 → 不要な画像を削除する（34ページ、**別冊基本編** ➡ 37ページ）。 → "メモリースティック　デュオ"を交換する。

症状	原因	処置
撮影できない。	• 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。	→ 誤消去防止スイッチを解除する（74ページ）。
	• フラッシュ充電中は撮影できない。	—
	• 静止画撮影時、モードスイッチが「」以外になっている。	→ モードスイッチを「」にする （**別冊基本編** ➡ 20ページ）。
	• 動画撮影時、モードスイッチが「」以外になっている。	→ モードスイッチを「」にする（32ページ）。
	• 動画撮影時、画像サイズが［640（ファイン）］になっている。	→“ メモリースティック　PRO　デュオ ”を入れる （32、74ページ）。 → 画像サイズを［640（ファイン）］以外にする。
フラッシュ撮影ができない。	• モードスイッチが「」以外になっている。	→ モードスイッチを「」にする （**別冊基本編** ➡ 20ページ）。
	• 設定が（発光禁止）になっている。	→ オート（表示なし）または（強制発光）、SL（スローシンクロ）にする（**別冊基本編** ➡ 26ページ）。
	• 静止画撮影時、メニューの［］（カメラ）の［］（夜景モード）または［］（打ち上げ花火モード）が選ばれている。	→［］（夜景モード）、［］（打ち上げ花火モード）以外にする（**別冊基本編** ➡ 30ページ）。
	• メニューの［］（カメラ）の［］（拡大鏡モード）、［］（風景モード）、［］（スノーモード）、［］（ビーチモード）または［］（高速シャッターモード）が選ばれている。	→ （強制発光）にする（**別冊基本編** ➡ 26ページ）。
	•［Mode］（撮影モード）が［マルチ連写］、［ブラケット］、［スピード連写］または［フレーミング連写］になっている。	→［マルチ連写］、［ブラケット］、［スピード連写］、［フレーミング連写］以外にする。
近接（マクロ）撮影機能が使えない。	• 静止画撮影時、メニューの［］（カメラ）の［］（拡大鏡モード）、［］（夜景モード）、［］（風景モード）または［］（打ち上げ花火モード）が選ばれている。	→［］（拡大鏡モード）、［］（夜景モード）、［］（風景モード）、［］（打ち上げ花火モード）以外にする （**別冊基本編** ➡ 30ページ）。

症状	原因	処置
被写体の目が赤く写る。	—	→ 赤目軽減モードにする（69ページ、**別冊基本編** ➡ 27ページ）。
正しい撮影日時が記録されない。	• 日付・時刻が合っていない。	→ 日付・時刻を合わせる（69ページ、**別冊基本編** ➡ 15ページ）。
シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。	• 露出が合っていない。	→ 露出を補正する（12ページ）。

画像を見る

症状	原因	処置
再生できない。	• モードスイッチが「▶」になっていない。	→ モードスイッチを「▶」にする（**別冊基本編** ➡ 33ページ）。
	• パソコンでフォルダ／ファイルの名前を変更した。	→ **別冊基本編** ➡ 58ページをご覧ください。
	• パソコンで画像加工したものは本機で再生できない。	—
	• USBモードになっている。	→ USB接続を終了する（**別冊基本編** ➡ 54、59ページ）。
表示直後に再生画像が粗い。	• 画像処理のため表示直後に画像が粗くなる。	→ 故障ではない。
テレビに画像が出ない。	• セットアップ画面の［ビデオ信号出力］が［PAL］になっている。	→ ［NTSC］にする（5、71ページ）。
	• 接続が正しくない。	→ 接続を確認する（**別冊基本編** ➡ 35ページ）。
	• USB端子が接続されている。	→ **別冊基本編** ➡ 54ページ❗、または59ページ❶の手順に従ってUSBケーブルを抜いてください。
パソコンで再生できない。	—	→ 57ページをご覧ください。

画像を削除する／編集する

症状	原因	処置
削除できない。	• 画像がプロテクトされている。 • 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。	→ 画像のプロテクトを解除する（28ページ）。 → 誤消去防止スイッチを解除する（74ページ）。
誤って消してしまった。	• 1度削除した画像は元に戻せない。	→ 画像にプロテクトをかけると、誤消去を防げます（28ページ）。 → 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”をご使用の場合、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると誤消去を防げます（74ページ）。
リサイズができない。	• 動画／マルチ連写画像はリサイズできない。	—
プリント予約マークが付かない。	• 動画にはプリント予約マークを付けられない。	—
画像を分割できない。	• 分割できる充分な長さのない動画は分割できない。 • プロテクトされている動画は分割できない。 • 静止画は分割できない。	— → 画像のプロテクトを解除する（28ページ）。 —

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/support-di/

症状	原因	処置
対応しているOSが分からない。	—	➔「パソコンの推奨使用環境」を確認する（**別冊基本編** ➔ 43ページ）。
USBドライバをインストールできない。	—	➔ Windows 2000を使用している場合は、Administrator（管理者権限）でログオンする（**別冊基本編** ➔ 44ページ）。
本機がパソコンに認識されない。	• 本機の電源が入っていない。	➔ 本機の電源を入れる（**別冊基本編** ➔ 14ページ）。
	• バッテリー残量が少ない。	➔ ACアダプターを使う（**別冊基本編** ➔ 13ページ）。
	• 付属のUSBケーブルを使っていない。	➔ 付属のUSBケーブルを使う（**別冊基本編** ➔ 47ページ）。
	• USBケーブルがしっかり差し込まれていない。	➔ 1度パソコンとUSBクレードルからUSBケーブルを抜いて再度しっかりと差し込み、「USBモード」と表示されているか確認する（**別冊基本編** ➔ 47ページ）。
	• 本機がUSBクレードルに正しく取り付けられていない。	➔ 正しく取り付ける（**別冊基本編** ➔ 8ページ）。
	• セットアップ画面の［USB接続］が［PTP］になっている。	➔［標準］にする（5、71ページ）。
	• パソコンのUSB端子にUSBクレードルの他に機器が接続されている。	➔ キーボード／マウス以外は取りはずす。
	• 本機がパソコン本体に直接接続されていない。	➔ USBハブ経由などで接続せずに本機とパソコンを直接接続する。
	• USBドライバがインストールされていない。	➔ USBドライバをインストールする（**別冊基本編** ➔ 44ページ）。
	• CD-ROM（付属）から「USBドライバ」をインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。	➔ 正しく認識されなかったデバイスを削除してから、USBドライバをインストールする（**別冊基本編** ➔ 51、44ページ）。

困ったときは

症状	原因	処置
画像をコピーできない。	• 本機とパソコンの接続が正しくない。 • お使いのOSによって手順が違う。 — —	→ 本機とパソコンを正しくUSB接続する（**別冊基本編** → 47ページ）。 → お使いのOSに対応した手順でコピーする（**別冊基本編** → 49、52、59ページ）。 →「Image Transfer」ソフトウェアをお使いの場合は、40ページをご覧ください。 →「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、44ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。
USB接続をしたときに「Image Transfer」が自動起動しない。	— —	→「Image Transfer」を「自動的に起動する」に設定してください（41ページ）。 → パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をしてください（**別冊基本編** → 47ページ）。
画像を再生できない。	— —	→「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、46ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。 → パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
動画を再生すると画像や音が途切れる。	• “メモリースティック　デュオ”から直接再生している。	→ パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する（40、44、**別冊基本編** → 49、52、59ページ）。
画像を印刷できない。	— —	→ プリンターの設定を確認する。 → 47ページをご覧になるか、「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
CD-ROM（付属）をパソコンにセットするとエラーメッセージが表示される。	• パソコンのディスプレイの設定が正しくない。	→ パソコンのディスプレイの設定を以下のように設定する。 Windowsの場合：　800×600ドット以上 High Color（16 bitカラー、65000色）以上 Macintoshの場合：800×600ドット以上 32000色モード以上

“ メモリースティック　デュオ ”

症状	原因	処置
本機に入らない。	• “ メモリースティック　デュオ ”を入れる向きが違っている。	➔ 正しい向きにして入れる（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
記録できない。	• 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。 • “ メモリースティック　デュオ ”の容量がいっぱいになっている。 • 動画撮影時、画像サイズが［640（ファイン）］になっている。	➔ 誤消去防止スイッチを解除する（74ページ）。 ➔ 不要な画像を削除する（34ページ、**別冊基本編** ➡ 37ページ）。 ➔“ メモリースティック　PRO　デュオ ”を入れる（32、74ページ）。 ➔ 画像サイズを［640（ファイン）］以外にする。
フォーマットできない。	• 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。	➔ 誤消去防止を解除する（74ページ）。
誤ってフォーマットしてしまった。	• フォーマットすると、“ メモリースティック　デュオ ”内のデータはすべて消去され、元にもどせない。	➔ 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”をご使用の場合、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると誤消去を防げます（74ページ）。

その他

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	• “インフォリチウム”バッテリーを使っていない。 • バッテリーが残り少ない（表示が出る）。 • ACアダプターがしっかり差し込まれていない。 • 本機がUSBクレードルに正しく取り付けられていない。	→ バッテリーは必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う（76ページ）。 → 充電する（**別冊基本編** ➡ 9ページ）。 → マルチ接続端子とコンセントにしっかり差し込む（**別冊基本編** ➡ 13ページ）。 → 正しく取り付ける（**別冊基本編** ➡ 8ページ）。
電源が入っているのに操作できない。	• 内部システムの誤動作。	→ 電源を取りはずし、約1分後再び電源をつなぎ、本機の電源を入れる。これでも操作できないときは、コントロールボタン右下のRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる。（この操作をすると日時などの設定が解除される。）
液晶画面上の表示が分からない。	—	→ 表示の種類を確認する（80～83ページ）。
レンズがくもる。	• 結露している。	→ 電源を切って約1時間そのままにしてから使用する（73ページ）。
しばらく使用し続けると、本機が熱くなる。	—	→ 故障ではない。

警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ることがあります。

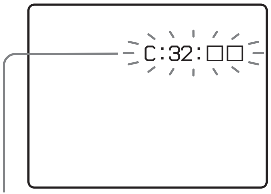
表示	意味／処置
メモリースティックがありません	•“ メモリースティック　デュオ ”を入れてください（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
システムエラー	• 電源を入れ直してください（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。
メモリースティックエラー	• 本機では使えない“ メモリースティック　デュオ ”が入っている（74ページ）。 •“ メモリースティック　デュオ ”が壊れている。“ メモリースティック　デュオ ”の端子部が汚れている。 •“ メモリースティック　デュオ ”を正しく入れてください（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
非対応のメモリースティックです	• 本機では使えない“ メモリースティック　デュオ ”が入っている（74ページ）。
フォーマットエラー	•“ メモリースティック　デュオ ”が正しくフォーマットされていない。フォーマットし直してください（**別冊基本編** ➡ 40ページ）。 •“ メモリースティック　デュオ ”を数回抜き差ししてください（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
メモリースティックがロックされています	• 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。解除してください（74ページ）。
メモリースティックの残量がありません	•“ メモリースティック　デュオ ”の空き容量が足りないので、記録ができない。不要な画像やデータを削除してください（34ページ、**別冊基本編** ➡ 37ページ）。
読み出し専用のメモリースティックです	• 本機ではこの“ メモリースティック　デュオ ”への画像記録や消去はできません。
このフォルダにはファイルがありません	• フォルダ内に画像が記録されていない。
フォルダエラー	• 上3桁の番号が同じフォルダが“ メモリースティック　デュオ ”内にある（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するかフォルダを作成してください。
これ以上フォルダ作成できません	• 上3桁の番号が「999」のフォルダが“ メモリースティック　デュオ ”内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

表示	意味／処置
記録できません	• 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択してください（7ページ）。
レンズカバーが閉まっています	• モードスイッチが「 」、「 」のときに、レンズが閉まっている。
ファイルエラー	• 画像再生時の異常。
“ インフォリチウム ”バッテリーを使ってください	• “ インフォリチウム ”対応以外のバッテリーを使っている。
画像サイズオーバーです	• 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。
分割できません	• 分割できる充分な長さがない。 • 動画ではない。
無効な操作です	• 本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。
	• バッテリーの残量が少ない。バッテリーを充電してください（**別冊基本編** → 9ページ）。ご使用状況によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。
	• 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使ってください。 • 本機が不安定な状態のため、手ぶれが起こりやすくなっています。本機を両手でしっかりと固定して撮影してください。ただし、手ぶれマークは消えません。
640 **（ファイン）に対応していません**	• “ メモリースティック　PRO　デュオ ”を入れてください。

自己診断表示

ー アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能が付いています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。詳しくは右の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。



自己診断表示

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	ハードウェアの異常。	電源を入れ直す（**別冊基本編** ➡ 14ページ）。
C:13:□□	データが読めない／書けない。	“ メモリースティック　デュオ ”を数回抜き差しする。
	フォーマットしていない“ メモリースティック　デュオ ”を入れた。	フォーマットする（**別冊基本編** ➡ 40ページ）。
	本機では使えない“ メモリースティック　デュオ ”を入れた。またはデータが壊れている。	“ メモリースティック　デュオ ”を交換する（**別冊基本編** ➡ 17ページ）。
E:61:□□ E:91:□□	何らかの異常が起きている。	コントロールボタン右下のRESETボタン（50ページ）を押してから、電源を入れる。

「対応のしかた」を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があります。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

記録枚数／時間について

“ メモリースティック　デュオ ”の容量、画像サイズ、画質によって記録できる枚数、時間が異なります。
表を参考に用途に応じて“ メモリースティック　デュオ ”をお選びください。

- 撮影枚数はファイン（スタンダード）の順で記載しています。
- 記録枚数／時間は撮影状況によっては数値と異なる場合があります。
- 通常撮影時の記録枚数については**別冊基本編** ➡ 19ページをご覧ください。
- 撮影残枚数が9999枚より多いとき、「>9999」と表示されます。

Eメール

（単位：枚）

	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX-M256	MSX-M512
5M	6 (11)	12 (23)	25 (46)	50 (94)	91 (170)	186 (345)
3:2	6 (11)	12 (23)	25 (46)	50 (94)	91 (170)	186 (345)
3M	9 (17)	20 (35)	40 (71)	80 (143)	145 (255)	296 (518)
1M	23 (42)	47 (85)	96 (171)	192 (343)	340 (595)	691 (1210)
VGA	81 (162)	163 (327)	328 (657)	658 (1317)	1190 (2381)	2420 (4841)

ボイスメモ

（単位：枚）

	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX-M256	MSX-M512
5M	6 (11)	12 (22)	25 (45)	50 (91)	90 (166)	183 (337)
3:2	6 (11)	12 (22)	25 (45)	50 (91)	90 (166)	183 (337)
3M	9 (17)	19 (34)	39 (69)	79 (138)	142 (246)	290 (500)
1M	22 (38)	45 (78)	91 (157)	183 (316)	324 (549)	660 (1117)
VGA	69 (121)	140 (245)	281 (492)	564 (987)	1020 (1785)	2074 (3630)

音声記録5秒の場合

マルチ連写

（単位：枚）

	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX-M256	MSX-M512
1M	24 (46)	50 (93)	101 (187)	202 (376)	357 (649)	726 (1320)

動画

	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX-M256	MSX-M512
640（ファイン）	–	–	–	–	0:02:57	0:06:02
640（スタンダード）	0:00:42	0:01:27	0:02:56	0:05:54	0:10:42	0:21:47
160	0:11:12	0:22:42	0:45:39	1:31:33	2:51:21	5:47:05

記録時間の読みかた

左から時間、分、秒と読みます。例：〔1：10：28〕→1時間10分28秒

メニュー項目について

モードスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。
■印はお買い上げ時の設定です。

モードスイッチが「📷」のとき

項目	設定	意味
📷（カメラ）	／／／／／ ／／／プログラム／ ■オート	カメラモードを選ぶ（**別冊基本編** ➡ 21ページ）。
(EV) 1)	＋2.0EV／＋1.7EV／＋1.3EV／＋1.0EV／＋0.7EV／＋0.3EV／■0EV／−0.3EV／−0.7EV／−1.0EV／−1.3EV／−1.7EV／−2.0EV	露出を補正する（12ページ）。
（フォーカス） 1)5)	∞／7.0 m／3.0 m／1.0 m／0.5 m／スポットAF／中央重点AF／■マルチAF	オートフォーカスの方法を選択したり（8ページ）、フォーカスプリセットで距離を設定する（11ページ）。
（測光モード） 1)	スポット／■マルチ	撮りたい被写体に露出を合わせる（14ページ）。測光枠を設定する。
WB（ホワイトバランス） 1)5)	WB／／／／／■オート	ホワイトバランスを設定する（16ページ）。
ISO 1)	400／200／100／■オート	ISO感度を選ぶ。暗い場所や高速で移動する被写体の撮影には大きい値を、高画質を得るには小さい値を選ぶ。 • ISO感度の値が大きくなるほどノイズ感が増します。
（画質） 1)	■ファイン／スタンダード	高画質で記録する／標準の画質で記録する（5ページ）。

1) メニューの［📷］（カメラ）が［オート］に設定されているときは表示されません。

2) メニューの［📷］（カメラ）が［プログラム］以外に設定されているときは表示されません。

項目	設定	意味
Mode（撮影モード）5)	ボイスメモ Eメール マルチ連写 ブラケット フレーミング連写 スピード連写 ■通常撮影	– JPEGファイルと別に、音声ファイル（静止画付き）を記録する（20ページ）。 – 設定されている画像サイズと別に小サイズ（320×240）のJPEGファイルを記録する（19ページ）。 – 1度のシャッターで1枚の静止画の中に連続した16コマの画像を記録します（画像サイズ 1M）（18ページ）。 – 3通りの異なった露出で静止画を3枚撮影する（15ページ）。 – 液晶画面に画像を表示しながら連写する（18ページ）。 – 短い撮影間隔で連写する（18ページ） – 通常の撮影をする。
BRK（ブラケット設定）3)	±1.0EV／■±0.7EV／±0.3EV	露出を変えて3枚の画像を撮影するときの露出補正量を設定する（15ページ）。（[Mode]（撮影モード）が［ブラケット］以外のときは設定できません。）
M（インターバル）3)	1/7.5／1/15／■1/30	マルチ連写のシャッター間隔を設定する（18ページ）。（[Mode]（撮影モード）が［マルチ連写］以外のときは設定できません。）
±（フラッシュレベル）4)	明／■標準／暗	フラッシュの発光量を調節する（17ページ）。
PFX（P.エフェクト）1)	ソラリ／セピア／ネガアート／■切	画像の特殊効果を設定する（21ページ）。
（彩度）2)	＋／■標準／–	画像の彩度を調節する。設定が標準以外のときは、画面にが出る。
（コントラスト）2)	＋／■標準／–	画像のコントラストを調節する。設定が標準以外のときは、画面にが出る。
（シャープネス）2)	＋／■標準／–	画像のシャープネスを調節する。設定が標準以外のときは、画面にが出る。

3) メニューの［］（カメラ）が［オート］、［］（拡大鏡モード）、［］（夜景モード）、［］（夜景＆人物モード）または［］（打ち上げ花火モード）に設定されているときは表示されません。

4) メニューの［］（カメラ）が［オート］、［］（夜景モード）または［］（打ち上げ花火モード）に設定されているときは表示されません。

5) メニューの［］（カメラ）の設定によっては、設定できる項目が限定されます。

モードスイッチが「🎞」のとき

項目	設定	意味
☑(EV)	＋2.0EV／＋1.7EV／＋1.3EV／＋1.0EV／＋0.7EV／＋0.3EV／■0EV／－0.3EV／－0.7EV／－1.0EV／－1.3EV／－1.7EV／－2.0EV	露出を補正する（12ページ）。
（フォーカス）	∞／7.0 m／3.0 m／1.0 m／0.5 m／スポットAF／中央重点AF／■マルチAF	オートフォーカスの方法を選択したり（8ページ）、フォーカスプリセットで距離を設定する（11ページ）。
（測光モード）	スポット／■マルチ	撮りたい被写体に露出を合わせる（14ページ）。測光枠を設定する。
WB **（ホワイトバランス）**	／／／／■オート	ホワイトバランスを設定する（16ページ）。
PFX（P.**エフェクト）**	ソラリ／セピア／ネガアート／■切	画像の特殊効果を設定する（21ページ）。

モードスイッチが「▶」のとき

項目	設定	意味
（フォルダ）	実行／キャンセル	再生したい画像の入っているフォルダを選ぶ（22ページ）。
（プロテクト）	—	画像に誤消去防止の指定／解除をする（28ページ）。
DPOF（DPOF）	—	プリント予約マークを付けたい／消したい静止画を選ぶ（30ページ）。
（スライドショー）	間隔設定	– スライドショーの間隔を設定する（24ページ）。（シングル画面のときのみ） ■3秒／5秒／10秒／30秒／1分
	再生画像	– スライドショーを再生する範囲を設定する。 ■フォルダ内／全て
	繰り返し	– スライドショーを繰り返し再生する。 ■入／切
	スタート	– スライドショーを実行する。
	キャンセル	– スライドショーの設定および実行を中止する。
（リサイズ）	5M／3M／1M／VGA／キャンセル	撮影した静止画の画像サイズを変更する（29ページ）。（シングル画面のときのみ）
（回転）	↶／↷／実行／キャンセル	静止画像を↶左回りまたは、↷右回りに回転する（25ページ）。（シングル画面のときのみ）
（分割）	実行／キャンセル	動画を分割する（36ページ）。（シングル画面のときのみ）

セットアップ項目について

メニュー画面で🧰を選択して▶を押すと、セットアップ画面が表示されます。
■印はお買い上げ時の設定です。

📷（カメラ）

項目	設定	意味
AFモード	■シングル／モニタリング／コンティニュアス	ピント合わせの動作モードを設定する（9ページ）。
デジタルズーム	■スマート／プレシジョン／切	デジタルズームのモードを選ぶ（**別冊基本編** → 24ページ）。
日付/時刻	日時分／年月日／■切	画像に日付や時刻を挿入するかどうかを設定する（**別冊基本編** → 28ページ）。動画／マルチ連写では、日付・時刻は挿入されない。また、撮影時は日付や時刻は表示されず、再生時に表示される。
赤目軽減	入／■切	フラッシュ撮影時、被写体の目が赤く写るのを抑制する（**別冊基本編** → 27ページ）。
AFイルミネーター	■オート／切	暗いところで撮影するとき、AF補助光を発光させるかどうかを選ぶ。フォーカスを合わせやすいようにするための機能です（**別冊基本編** → 28ページ）。
オートレビュー	入／■切	静止画撮影時、撮影直後に記録した画像を自動的に液晶画面に表示するかどうかを設定する。［入］に設定すると記録画像が約2秒間表示される。その間は次の撮影はできない。

（メモリースティックツール）

項目	設定	意味
フォーマット	実行／キャンセル	“ メモリースティック　デュオ ”をフォーマット（初期化）する。フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、“ メモリースティック　デュオ ”に記録されているすべてのデータが消去され、元にもどせないのでご注意ください（**別冊基本編** → 40ページ）。
記録フォルダ作成	実行／キャンセル	新しいフォルダを作成する（7ページ）。
記録フォルダ変更	実行／キャンセル	画像を記録するフォルダを変更する（7ページ）。

（設定1）

項目	設定	意味
LCD**明るさ**	明／■標準／暗	液晶画面の明るさを選ぶ。記録される画像に影響はない。
LCD**バックライト**	明／■標準	液晶バックライトの明るさを選ぶ。屋外など明るい場所で使うときに［明］を選ぶと画面は明るく見やすくなるが、バッテリーの消耗は早くなる。バッテリー使用時のみ表示される項目。
お知らせブザー	シャッター ■入 切	– シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 – コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。 – 音は鳴らない。
言語	■日本語 English	– メニュー項目・警告表示などを日本語で表示する。 – メニュー項目・警告表示などを英語で表示する。

（設定2）

項目	設定	意味
ファイルナンバー	■連番 リセット	– 記録フォルダを変更したり、“ メモリースティック デュオ ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。 – フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。（記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号＋1のファイル番号を付ける。）
USB**接続**	PTP／■標準	USB接続方法を選ぶ（**別冊基本編** → 47ページ）。
ビデオ信号出力	■NTSC PAL	– ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。 – ビデオ信号出力をPALモードに設定する（欧州など）。
時計設定	実行／キャンセル	時計を合わせる（5ページ、**別冊基本編** → 15ページ）。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて
ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする
液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、液晶クリーニングキット（別売り）を使ってきれいにすることをおすすめします。

DCプラグをきれいにする
ACアダプターのDCプラグを汚れたまま使わないでください。汚れたままご使用になると、正しく充電されないことがあります。

レンズをきれいにする
レンズに指紋やゴミがついて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする
水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。また、以下はご使用にならないでください。
- シンナー
- ベンジン
- アルコール
- 化学ぞうきん

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0°C～40°Cです。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。

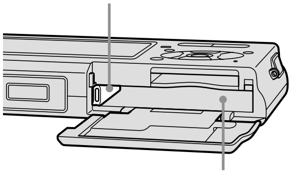
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。

ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

本機をACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切ったまま24時間以上放置する。

- 充電式ボタン電池は本機のバッテリー挿入口左側面に内蔵されています。絶対に取り出さないでください。



“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。

“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録／再生[3]
メモリースティック	–
メモリースティック　デュオ	○
メモリースティック　デュオ（マジックゲート／高速データ転送対応）[1]	○[2]
マジックゲートメモリースティック	–
マジックゲートメモリースティックデュオ[1]	○
メモリースティック　PRO	–
メモリースティックPRO　デュオ[1]	○[2]

[1] マジックゲート搭載の“メモリースティック　デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

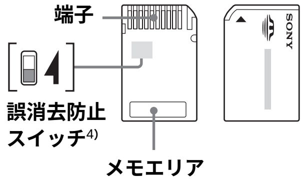
[2] パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。

[3] 動画の［640（ファイン）］は“メモリースティック　PRO　デュオ”でのみ記録／再生できます。

- パソコンでフォーマットした“メモリースティック　デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック　デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。

“メモリースティック　デュオ”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチ[4]を先の細いものでスライドさせて「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。



誤消去防止スイッチ[4]の位置や形状は、お使いの“メモリースティック　デュオ”によって異なることがあります。

[4] 本機に付属の“メモリースティック　デュオ”には、誤消去防止スイッチはありません。ご使用の際は、誤ってデータを編集したり消去しないようご注意ください。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック　デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック　デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合

ー静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “ メモリースティック　デュオ ”本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。
  誤って飲み込む恐れがあります。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  ー高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  ー直射日光のあたる場所
  ー湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック　デュオ　アダプター（付属）使用上のご注意

- “ メモリースティック　デュオ ”を“ メモリースティック ”対応機器でお使いの場合は、必ず“ メモリースティック　デュオ ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
  メモリースティック　デュオ　アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“ メモリースティック　デュオ ”が取り出せなくなる場合があります。
- “ メモリースティック　デュオ ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “ メモリースティック　デュオ ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに装着して“ メモリースティック ”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック　デュオ　アダプターに“ メモリースティック　デュオ ”が装着されていない状態で、“ メモリースティック ”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“ メモリースティック　PRO　デュオ ”（別売り）使用上のご注意

本機で動作確認されている“ メモリースティック　PRO　デュオ ”は512 MBまでです。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM™ T TYPE

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

周囲の温度が10°C～30°Cの環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、本機で使い切ってから再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、「スライドショー」再生（24ページ）にして、電源が切れるまでそのままにしてください。

- バッテリー端子の汚れやショート等を防止するため、携帯や保管には必ずバッテリーケースをお使いください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーごとに異なります。

主な仕様

■ 本体

[システム]

撮像素子 7.66 mm（1/2.4型）カラーCCD
原色フィルター

総画素数 約5 255 000画素

カメラ有効画素数
約5 090 000画素

レンズ カールツァイスバリオテッサー3倍ズームレンズ
f=6.7 ～20.1 mm（35 mmカメラ換算では38 ～114 mm）、F3.5～4.4

露出制御 自動、
シーンセレクション（8モード）

ホワイトバランス
オート、太陽光、曇天、蛍光灯、電球、フラッシュ

記録方式（DCF準拠）
静止画：Exif Ver. 2.2　JPEG準拠、DPOF対応
音声付静止画：MPEG1準拠（モノラル）
動画：MPEG1準拠（モノラル）

記録メディア
“ メモリースティック　デュオ ”

フラッシュ 推奨撮影距離（ISO感度がオートのとき）
0.3～1.5 m（W）／
0.5～1.5 m（T）

[入出力端子]

マルチ接続端子

[液晶画面]

液晶パネル 6.2 cm（2.5型）TFT駆動

総ドット数 211 200（960×220）ドット

[電源・その他]

使用バッテリー
NP-FT1

電源電圧バッテリー端子入力
3.6 V

消費電力（撮影時）
1.6 W

動作温度 0°C～+40°C

保存温度 –20°C～+60°C

外形寸法 91×60×21 mm
（幅×高さ×奥行き、最大突起部を除く）

本体質量 約180 g（バッテリーNP-FT1、“ メモリースティック　デュオ ”、リストストラップなど含む）

マイクロホン
エレクトレットコンデンサマイクロホン

スピーカー 圧電スピーカー

Exif Print 対応

PRINT Image Matching II
対応

■ USBクレードル UC-TA

［入出力端子］

A/V OUT（MONO）**端子（モノラル）**
ミニジャック
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声：327 mV（47 kΩ　負荷時）
出力インピーダンス
1 kΩ

USB**端子** B

USB**通信** Hi-Speed USB
（USB 2.0 High-Speed対応）

DC IN**端子**

カメラ接続端子

■ ACアダプター AC-LM5/LM5A

定格入力 AC 100～240 V、
50/60 Hz

消費電力 AC-LM5 10 W
AC-LM5A 11W

定格出力 DC 4.2 V、1.5 A

動作温度 0°C～＋40°C

保存温度 −20°C～＋60°C

外形寸法（最大突起部を除く）
AC-LM5 約47×30×80 mm
AC-LM5A 約48×29×81 mm
（幅×高さ×奥行き）

本体質量 AC-LM5 約170 g
AC-LM5A 約160 g
（本体のみ）

■ バッテリーNP-FT1

使用電池 リチウムイオン蓄電池

最大電圧 DC 4.2 V

公称電圧 DC 3.6 V

容量 2.4 Wh（680 mAh）

付属品

- ACアダプターAC-LM5/LM5A（1）
- 電源コード（1）
- USBクレードルUC-TA（1）
- USBケーブル（1）
- バッテリーパックNP-FT1（1）
- A/V接続ケーブル（1）
- リストストラップ（1）
- “ メモリースティック　デュオ ”（32 MB）（1）
- メモリースティック　デュオ　アタプター（1）
- CD-ROM（USBドライバSPVD-013）（1）
- サイバーショット基本編（1）
- サイバーショット応用編／困ったときは（1）
- 安全のために（1）
- 保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや“ メモリースティック　デュオ ”などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

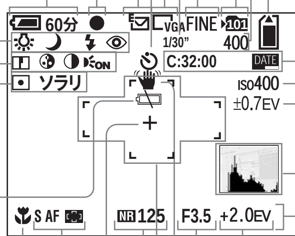
部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

画面上の表示

カッコ内の数字はページ数です。

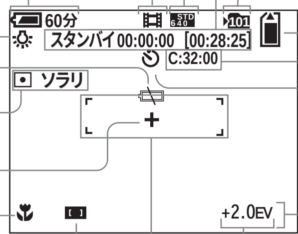
静止画撮影時



画像サイズ表示（別冊基本編 → 18）
セルフタイマー表示（別冊基本編 → 26）
撮影モード表示（15、18〜20）
AE/AFロック表示（10、別冊基本編 → 20）
バッテリー残量表示（別冊基本編 → 11）
ホワイトバランス表示（16）／
カメラモード表示（別冊基本編 → 21）／
フラッシュモード表示（別冊基本編 → 26）／
赤目軽減表示（別冊基本編 → 27）
シャープネス表示（66）／彩度表示（66)／
コントラスト表示（66)／AFイルミネーター表示
（69、別冊基本編 → 28）
測光モード表示（14）／
ピクチャーエフェクト表示（21）
バッテリープリエンド（62）
マクロ表示（別冊基本編 → 25）
AFモード表示（9）／AF測距枠表示（8）／
フォーカスプリセット値（11）
スポット測光照準（14）
NRスローシャッター表示（別冊基本編 → 32）／
シャッタースピード表示

マルチ連写インターバル表示（18）
画質表示（5）
記録フォルダ表示（6）
撮影残枚数表示（別冊基本編 → 19）
“メモリースティック”残量表示
自己診断表示（63）／
日付／時刻表示（別冊基本編 → 15）
ISO感度表示（65）
ブラケット露出補正量表示（15）
ヒストグラム表示（12）
メニュー／ガイドメニュー（4）
EV補正表示（12）
絞り値表示
手ぶれ警告表示（62）
AF測距枠（8）

動画撮影時



撮影モード表示（32）

バッテリー残量表示（別冊基本編 ➡ 11）

ホワイトバランス表示（16）

バッテリープリエンド（62）

測光モード表示（14）／
ピクチャーエフェクト表示（21）

スポット測光照準（14）

マクロ表示（別冊基本編 ➡ 25）

AF**測距枠表示**（8）／**フォーカスプリセット値**（11）

画像サイズ表示（32）

記録時間［最大記録可能時間］表示（64）

記録フォルダ表示（6）

“メモリースティック”残量表示

自己診断表示（63）

セルフタイマー表示（別冊基本編 ➡ 26）

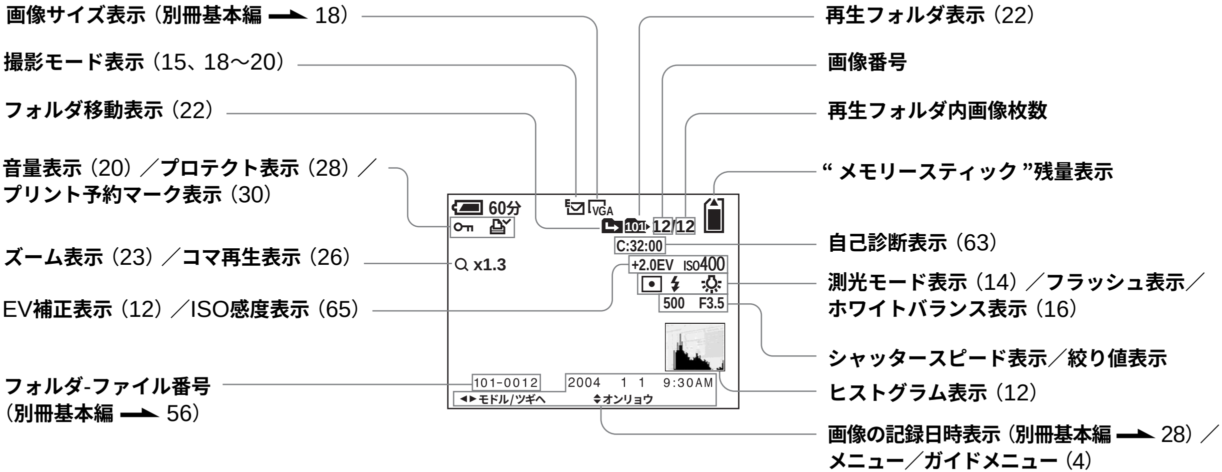
メニュー／ガイドメニュー（4）

EV**補正表示**（12）

AF**測距枠**（8）

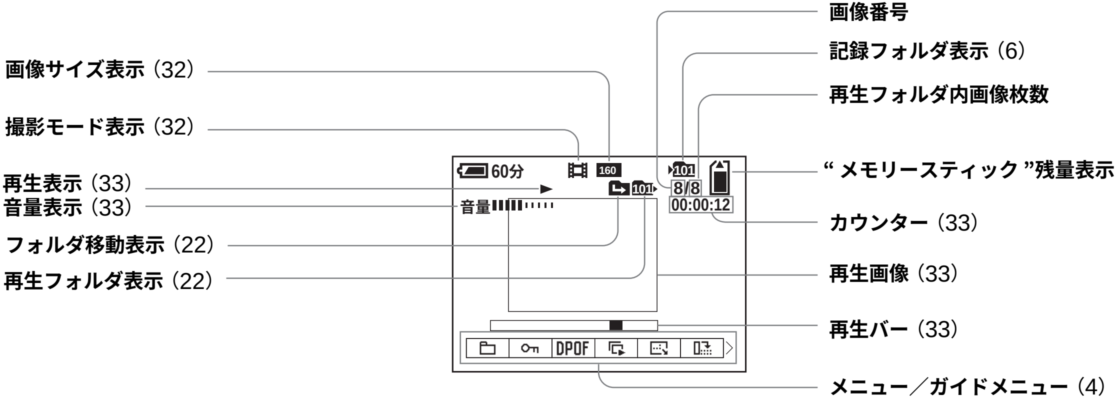
別冊の「サイバーショット基本編」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、「**別冊基本編** ➡ページ番号」のようにご案内しています。

静止画再生時



• メニュー／ガイドメニューは、MENUボタンを押すと、表示／非表示が切り換わります。

動画再生時



- メニュー／ガイドメニューは、MENUボタンを押すと、表示／非表示が切り換わります。

別冊の「サイバーショット基本編」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、「**別冊基本編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。

その他

用語の解説

インストール（38、42、**別冊基本編 ➡** 44ページ）
ソフトウェアなどをコンピューターにコピーして組み込み、使用できる状態にします。

“インフォリチウム”バッテリー（76ページ）
“インフォリチウム”に対応している機器とバッテリーの使用状況に関するデータ通信を行うことができるバッテリーのことです。

オートパワーオフ機能（**別冊基本編 ➡** 14ページ）
電源を入れたまま一定時間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源は自動的に切れます。

シャッタースピード
撮影時にCCDに光を当てる時間のことです。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写ります。

スマートズーム（**別冊基本編 ➡** 24ページ）
極めて画質劣化の少ない、画質を優先したデジタルズームです。光学ズームと同じような感覚で使うことが可能です。ただし、最大ズーム倍率は設定している画像サイズによって異なります。

ドライバ（**別冊基本編 ➡** 44ページ）
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピューター側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのことです。

半押し（**別冊基本編 ➡** 20ページ）
シャッターボタンを押し込まず、半分押しした状態にしておくことです。シャッターボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整します。

ピント（**別冊基本編 ➡** 22ページ）
被写体に対する焦点のことです。本機はピントを自動で調整しますが、撮影距離を設定することもできます。

フォーマット（**別冊基本編 ➡** 40ページ）
「初期化」とも言います。記録メディアにデータを書き込めるようにすることです。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消えます。

フォルダ（6、22ページ）
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所のことです。ファイルを分類するときに便利です。

プレシジョンデジタルズーム（**別冊基本編 ➡** 24ページ）
ズーム倍率を優先したデジタルズームです。画像をデジタル処理することにより、画像サイズの設定に関係なく常に最大で光学ズーム倍率の2倍のズームが可能になります。画像サイズ、ズームポジションによっては、スマートズームより画質が劣化することがありますが、一般的なデジタルズームに比べて劣化の少ない画質が得られます。

ホワイトバランス（16ページ）
光源に合わせて色を調整する機能のことです。被写体の見た目の色は光の状況に影響されます。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく映ります。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影することができます。

“ メモリースティック ”（74ページ）
小さくて軽く、フロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。本機には、通常の“ メモリースティック ”より小型の“ メモリースティック　デュオ ”を使用します。

有効画素数（77ページ）
CCDが光から電気信号に変換できる画素数です。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になります。

露出（12ページ）
絞りとシャッタースピードの値により決まる光の量のことです。

AE（**別冊基本編** ➡ 20ページ）
「Auto Exposure」の略です。
被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能のことです。

AF（8、**別冊基本編** ➡ 20、22ページ）
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能のことです。

CCD（77ページ）
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種です。

DCF（**別冊基本編** ➡ 4ページ）
「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格です。

DPOF（30ページ）
「Digital Print Order Format」の略で、「ディーポフ」と読みます。プリント予約したい写真を記録メディア上に指定することができます。

EV（12ページ）
「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位のことです。

Exif（77ページ）
（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです。

ISO（65ページ）
「イソ」と読みます。カメラフィルムの光に対する感応度のことです。ISO単位で表します。数値が大きいほど高感度の撮影ができます。

JPEG（**別冊基本編** ➡ 57ページ）
「ジェイペグ」と読みます。インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式のことです。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

MPEG（**別冊基本編** ➡ 57ページ）
「エムペグ」と読みます。カラー動画像の圧縮方式のひとつで、品質の良い画像や高い圧縮形式が得られます。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存します。

OS（**別冊基本編** ➡ 43ページ）
「Operating System」の略で、コンピューター全体を管理し、コンピューターを操作するのに必要な基本ソフトウェアのことです。

PTP（71ページ、**別冊基本編** ➡ 43ページ）
「Picture Transfer Protocol」の略です。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法です。

USB（**別冊基本編** ➡ 43ページ）
「Universal Serial Bus」の略です。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格です。

VGA（**別冊基本編** ➡ 19ページ）
「Video Graphics Array」の略で、640×480の画像サイズのことです。

索引

数字の前に「基」がついているページは別冊基本編のページです。

ア行

カ行

サ行

用語の解説／索引

デジタルイメージングカスタマーご登録

電話のおかけ間違いにご注意ください。

お客様へのサポートをより充実させていくため、「カスタマーご登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ **カスタマーご登録およびご登録内容の変更：**

http://www.sony.co.jp/di-regi/

お問い合わせ：**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**

電話：0466-38-1410

受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

ご使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター

電話：　0564-62-4979

（電話のおかけ間違いにご注意ください。）

受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時

（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

①お客様のID

（カスタマーご登録していただくとIDが発行されます。）

②本機の型名（本機底面をご覧ください。）

③本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

修理申し込み

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合左記のテクニカルインフォメーションセンターへお電話ください。

お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいします。

ImageMixer for Sonyに関するお問い合わせ窓口

ピクセラユーザーサポートセンター

電話：　06-6633-3900

受付時間：月～日曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）

http://www.imagemixer.com

3085734040

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。